

# リサイクルで何に生まれ変わる？

みなさんが分別して出した資源物は、リサイクル工場<sup>こうじょう</sup>で原料<sup>げんりょう</sup>にもどされ、新しい製品<sup>せいひん</sup>に生まれ変わります。「分ければ資源、混ぜればごみ」です。限りある資源<sup>せいりょう</sup>が再利用<sup>さいりよう</sup>されるよう、しっかり分別<sup>ぶんべつ</sup>するようにしましょう。



資源物 <sup>しげんぶつ</sup>	生まれ変わるもの(変身) <sup>へんしん</sup>
新聞紙 <sup>しんぶんし</sup>	新聞紙、印刷用紙、コピー用紙、雑誌 <sup>しんぶんし いんさつようし ようし ざっし</sup>
ダンボール	ダンボール、紙筒 <sup>かみづつ</sup>
本・雑誌・その他の紙 <sup>ほん ざっし ほかに かみ</sup>	印刷用紙、絵本、紙箱 <sup>いんさつようし えほん かみばこ</sup>
牛乳パック <sup>ぎゅうにゅう</sup>	トイレtpーパー、ティッシュペーパー
衣類・布類 <sup>いるい ののるい</sup>	工場のぞうきん、フェルト(防音材、保温材) <sup>こうじょう ぼうおんざい ほんおんざい</sup>
びん	ガラスやビンの原料、住宅用断熱材、タイル、ガラス工芸品、舗装道路材 <sup>げんりょう じゅうたくようだんねつざい こうげいひん ぽうさうどうろざい</sup>
スチール缶 <sup>かん</sup>	鉄製品(鉄骨、鉄筋、家電、自動車部品) <sup>てつせいひん てつこつ てつきん かでん じどうしゃぶひん</sup>
アルミ缶 <sup>かん</sup>	アルミ製品(アルミ缶、自動車部品) <sup>せいひん かん じどうしゃぶひん</sup>
プラスチック・ペットボトル	文房具、日用品、舗装材、ボトル・ペットボトル、せんい製品(衣料品、フリース、作業衣) <sup>ぶんぼうぐ にちようひん ぽうさうざい せいひん いりょうひん さぎょうい</sup>

-----

-----

-----

-----

-----

かんが かんきょう  
— 考えてみよう! ごみのこと 環境のこと —

わたし かねん しょりせつ  
**私たちの可燃ごみ処理施設**



あさかわせいりゅうかんきょうくみあい  
**浅川清流環境組合**  
可燃ごみ処理施設はみなさんの住む3つの市が協力してつくりました

小学校 年 組 名前

# はじめに

## —みなさんに期待すること—

この冊子では、みなさんの家庭から出る可燃ごみを処理する「浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設」と、この施設を共同で運営する日野市、国分寺市、小金井市の3市の紹介、ごみ処理の流れや環境問題などについて分かりやすく説明しています。

みなさんが住んでいるまちが、いつまでもきれいで環境にやさしいまちであるために、一人ひとりがごみのことや環境のことを身近なものとしてとらえ、友だちや家族と話し合っ自分何ができるかを考えたり、行動するきっかけになればうれしいです。

可燃ごみ処理施設周辺にお住いの方をはじめとした日野市民のみなさん、関係者のみなさんに感謝し、ご負担を少しでも減らすことができるよう、一層のごみの分別、資源化の徹底へのご協力をお願いします。

## もくじ

- 1 共同処理の3市を知ろう // 1
- 2 3市のごみの種類とゆくえ // 2
- 3 可燃ごみ処理施設を見学しよう // 4
- 4 ごみの最終処分場を知ろう // 7
- 5 食品ロスを減らそう ~SDGsを考える~ // 8
- 6 プラスチックごみを減らそう ~SDGsを考える~ // 9
- 7 リサイクルで何に生まれ変わる? // 裏表紙

## 用語の統一について

**可燃ごみ**：市によって「もやせるごみ」、「燃やすごみ」といった呼び方をしています。  
**不燃ごみ**：市によって「もやせないごみ」、「燃やさないごみ」といった呼び方をしています。  
**資源物**：びん、缶、ペットボトル、古紙、布などリユース、リサイクルできるものを資源物または資源ごみと呼んでいます。市によってはプラスチック類を資源物としています。

# 6 プラスチックごみを減らそう ~SDGsを考える~

## プラスチックごみは地球環境に大きな影響が

ポイ捨てなどで捨てられたプラスチックごみは、川から海に流れ出ます。この量は世界全体で年間800万トン(東京スカイツリー約222基分)にもなります。海に流れたプラスチックごみは、海岸に打ち上げられたり、海底に沈んだり、海を漂ったりします。このため、海の生き物に絡みついたり、生き物が誤って食べて死ぬなど、海の環境や生き物に大きな影響を与えています。

プラスチックは、燃やすと地球温暖化の原因となる二酸化炭素が多く発生します。また、今まで通り大量に使い続けると、原料となる石油が少なくなります。私たちが毎日の生活のなかでプラスチックごみを減らす努力が求められています。

プラスチックはえらんで、減らして、リサイクル!



※ 出典元 消費者庁資料より

## 私たちでできることを考えてみよう!

プラスチックごみを減らすために、私たちでできることをチェックしましょう。

☆みんなもやってみよう!

- エコバッグを持参し、レジ袋を断る。
- マイボトルを持参しペットボトルは利用しない。
- ごみのポイ捨てはしない。
- 学校や地域の清掃活動に参加する。

☆家族の人に聞いてみよう!

- シャンプーなどは詰替え商品を選ぶ。
- 使い捨てプラスチック製品は使わない。
- リサイクル製品をできるだけ使う。
- 外出先で出たごみはなるべく持ち帰る。

SDGsの目標の達成のためには、国や市などの取り組みとともに私たちの行動が大変重要です。

17の目標には、環境に関係するものがたくさんあります。どんな項目があるか調べてみましょう。そして、私たちに何ができるかみんなで話し合っ実行しましょう。



# 食品ロスを減らそう ~SDGsを考える~

## 食品ロスとは?

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロスは、「もったいない」だけでなく可燃ごみの量を増やします。また、ごみを燃やす時に出る二酸化炭素の増加にもつながり、環境にも悪い影響があります。食品ロスの約半分は家庭から出ています。みんなで食品ロスを減らしましょう!



出典元 農林水産省令和3年度推計値

## 食品ロスの原因

家庭から出る食品ロス244万トン(令和3年度推計)の捨てる原因は、次の3つと考えられています。

①食べ残し 105万トン	②食べられる部分を余計に取り除いたもの 34万トン	③賞味期限や消費期限が切れて捨てるもの 105万トン
-----------------	------------------------------	-------------------------------

## 賞味期限、消費期限を正しく理解しよう!

「賞味期限」

おいしく食べられる期限

賞味期限は切れてから食べても、すぐに安全性に問題があるわけではありません。

「消費期限」

安全に食べられる期限

賞味期限は切れてから食べても、すぐに安全性に問題があるわけではありません。

## 私たちでできることを考えてみよう!

食品ロスを減らすために、私たちでできることをチェックしましょう。

### ☆みんなもやってみよう!

- 食べ物の好き嫌いをなくす。
- 早く食べる物はお店の棚の手前から取る。
- 食べる分だけを買う。
- 食事は残さず食べる。

### ☆家族の人に聞いてみよう!

- 買い物に行く前に冷蔵庫をチェックする。
- 期限の近い食材から調理する。
- 残った料理は別の料理にアレンジする。

## SDGs(持続可能な開発目標)は世界共通の目標です

SDGsは、「だれ一人取り残さない」の基本的な考えで、2030年までに「未来のために環境にやさしく、限りある資源を大切にして、今の生活をより良いものにする」ために、世界中の国が達成すべき17の目標を掲げています。



# 共同処理の3市を知ろう

私たちの可燃ごみ処理施設では、日野市、国分寺市、小金井市の3市に住む約44万人の可燃ごみを処理しています。それぞれの市の人口や特徴を見て、自分の市と似ているところや違うところなどを探してみましょう。



3市の略図

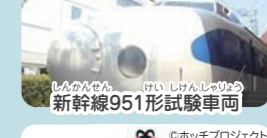
## 日野市 ~しあわせのタネを育てあう日野~

- 人口・世帯数** 187,180人、92,822世帯(令和5年4月1日現在)
- 市の歴史・名所** 令和5年11月3日市制施行60周年  
高幡不動尊、多摩動物公園など
- 市の特徴** 水と緑が豊かなまちで、小・中学校の給食にも地元で作られた野菜が使われるほど農業が盛んです。また新選組のふるさとでもあり、全国から新選組のファンが集まります。
- 市の鳥・木・花** カワセミ、かし、菊
- イメージキャラクター** エコクマ、エコアラ、ごみゼロマン



## 国分寺市 ~魅力あふれひとつながる文化都市国分寺~

- 人口・世帯数** 128,691人、63,862世帯(令和5年4月1日現在)
- 市の歴史・名所** 令和6年11月3日市制施行60周年  
武蔵国分寺跡(国指定史跡)、真姿の池湧水群(名水百選)など
- 市の特徴** 東京都の中心、いわゆる東京の「へそ」に位置し、緑と水が豊富な自然に恵まれたまちです。また、日本初のペンシルロケットの水平発射実験や新幹線技術の開発が行われた地です。
- 市の鳥・木・花** カワセミ、けやき、さつき
- イメージキャラクター** ぶんじほたるホッチ



## 小金井市 ~いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市~

- 人口・世帯数** 124,713人、62,874世帯(令和5年4月1日現在)
- 市の歴史・名所** 令和5年10月1日市制施行65周年  
滄浪泉園、江戸東京たてもの園など
- 市の特徴** 東京都のほぼ中央に位置し、市内には大学、研究施設が設置され、住宅都市、文教都市としての性格が強いまちです。
- 市の鳥・木・花** カワセミ、けやき、桜
- イメージキャラクター** くらカメ、こつカメ、ムダガベッジ将軍など(ごみ減量キャラクター)



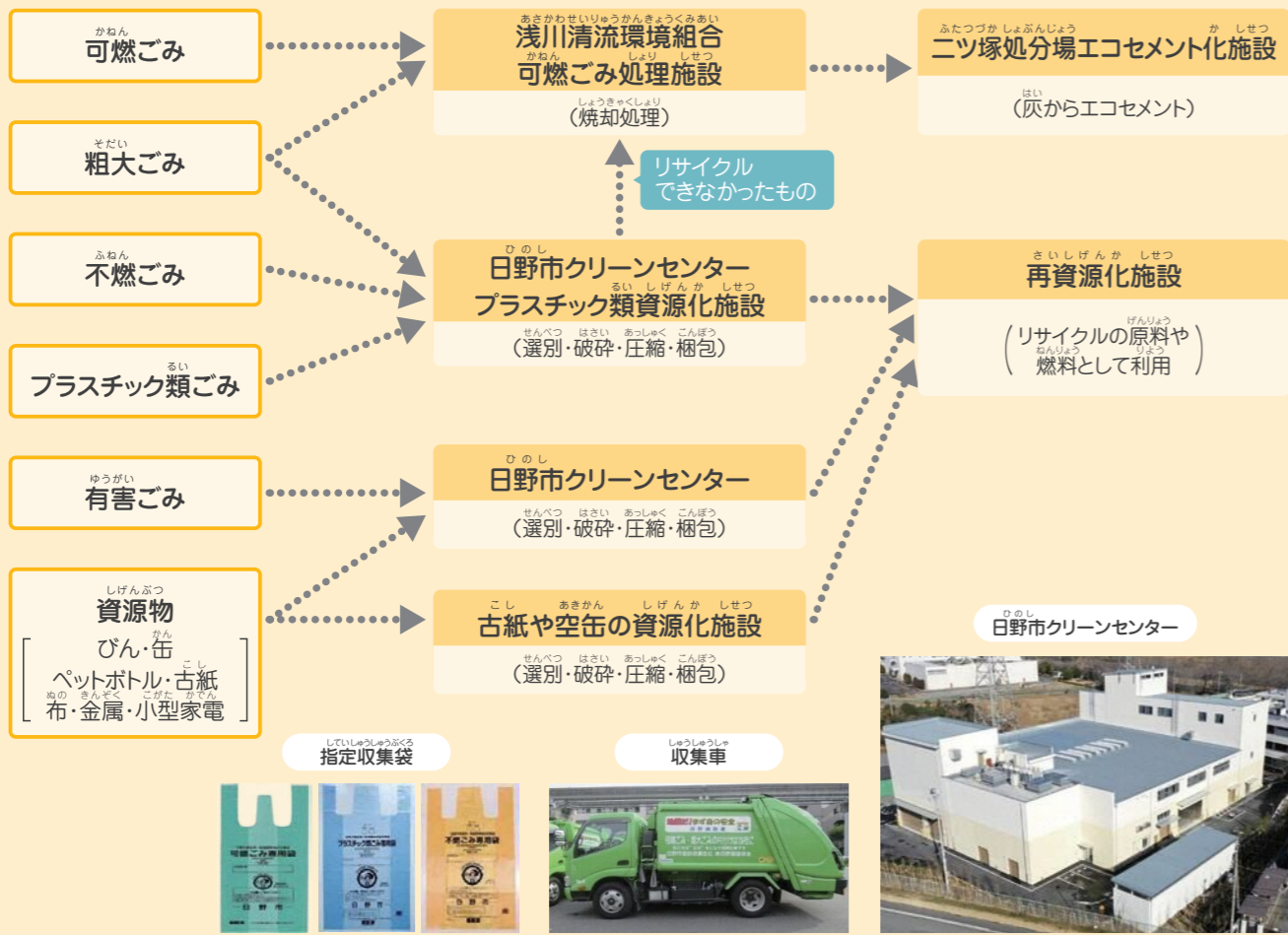
# 2 3市のごみの種類とゆくえ

みなさんの家から出たごみや資源物はどのように処理され、どこに行くのでしょうか。それぞれの市で少しずつ違う流れになっていて、色々な施設に運んでいるのがわかるかな。

資源物をリサイクルするためにはしっかり分別することが大切です。限りある資源を有効に再利用できるように、一人ひとりがルールを守ってきちんと分けて出すことがいつまでもきれいで、環境にやさしいまちにつながっていきます。



## 日野市 ~ごみゼロ社会をめざして~



### 言葉の説明

破碎とは、粉々に砕くことを言います。  
 圧縮とは、物に力を加えて小さくすることを言います。  
 梱包とは、紙やビニールなどで包み、荷造りすることを言います。



# 4 ごみの最終処分場を知ろう



エコセメント事業のシンボルマーク  
 エコタワー

可燃ごみを燃やしてできた灰は、日の出町のニツ塚処分場に運ばれます。ここは、三多摩25市1町約400万人の可燃ごみ焼却灰の最終処分場です。広さは約59ha(東京ドーム約13個分)もあり、焼却灰を主な原料としたエコセメントを製造しています。



## エコセメント化施設

焼却灰は以前は埋立てていましたが、処分場を長く使うために、平成18年にエコセメント化施設ができました。そこでつくられるエコセメントは、私たちのまちの道路やベンチなどに広く使われています。



## 埋立地の状況(埋立てゼロへ)

ここでは、以前、細かくくだいた不燃ごみの埋立てを行っていましたが、各市、町がリサイクルを進め平成30年度から埋立てゼロが続いています。



ニツ塚処分場は、日の出町のみなさんのご理解とご協力により成り立っています。私たちは、日の出町に感謝し、一層のごみ減量に努力しましょう!

## 3Rはリデュースが一番大事です!!

- 3Rは、ごみを減らすためのキーワードですが、行動する順番があります。
- ①まず、ごみを出さないこと、ごみを減らすこと。(リデュース=Reduce)
  - ②次に、まだ使える物は人にゆずったりして再使用すること。(リユース=Reuse)
  - ③それでもごみになる場合、資源物は分別して出して再生利用すること。(リサイクル=Recycle)



# 可燃ごみ処理施設を見学しよう

## この施設でおこなっていること

- ・ごみを850度以上の高温で確実に燃やすこと。
- ・燃えて出るガスをきれいにして煙突から排出すること。
- ・ごみのおいが外にもれないようにすること。
- ・発生した熱を利用して蒸気をつくり発電をすること。



## この施設のあらまし

運転開始年月日	令和2年4月1日
ごみ処理能力	228トン(一日あたり114トン×2炉)
炉形式	階段状に火格子を配置し、前後に動く方式(ストーカ方式)
蒸気タービン発電	5,190kW(一般家庭約15,000世帯分)
建物の敷地面積	地上6階、地下2階 建物高さ 32.6m 煙突高さ 85m

## 可燃ごみ処理に関する質問と答え

**Q1**

**Q** なぜごみを燃やすのですか?

**A** ごみを燃やすことで量や重さを減らすことができます。また、においや害虫の発生を抑えることもできます。

**Q2**

**Q** 1日に何台、ごみ収集車が来ますか?

**A** 1日平均、約200台です。

**Q3**

**Q** 1日に約何トンのごみが運ばれてきますか?

**A** 1日平均、約200~250トン(40Lのごみ袋20,000~25,000袋分の量)です。

**Q4**

**Q** ごみクレーンがつかむ最大の重さは何トンですか?

**A** 5トン(だいたい小学4年生、160人分の重さ)です。

**Q5**

**Q** ごみを燃やすと、100トンぐらいの重さのごみが何トンの灰になりますか?

**A** 約10トン(ごみの量がおよそ1/10)になります。

**Q6**

**Q** 災害時の備えはありますか?

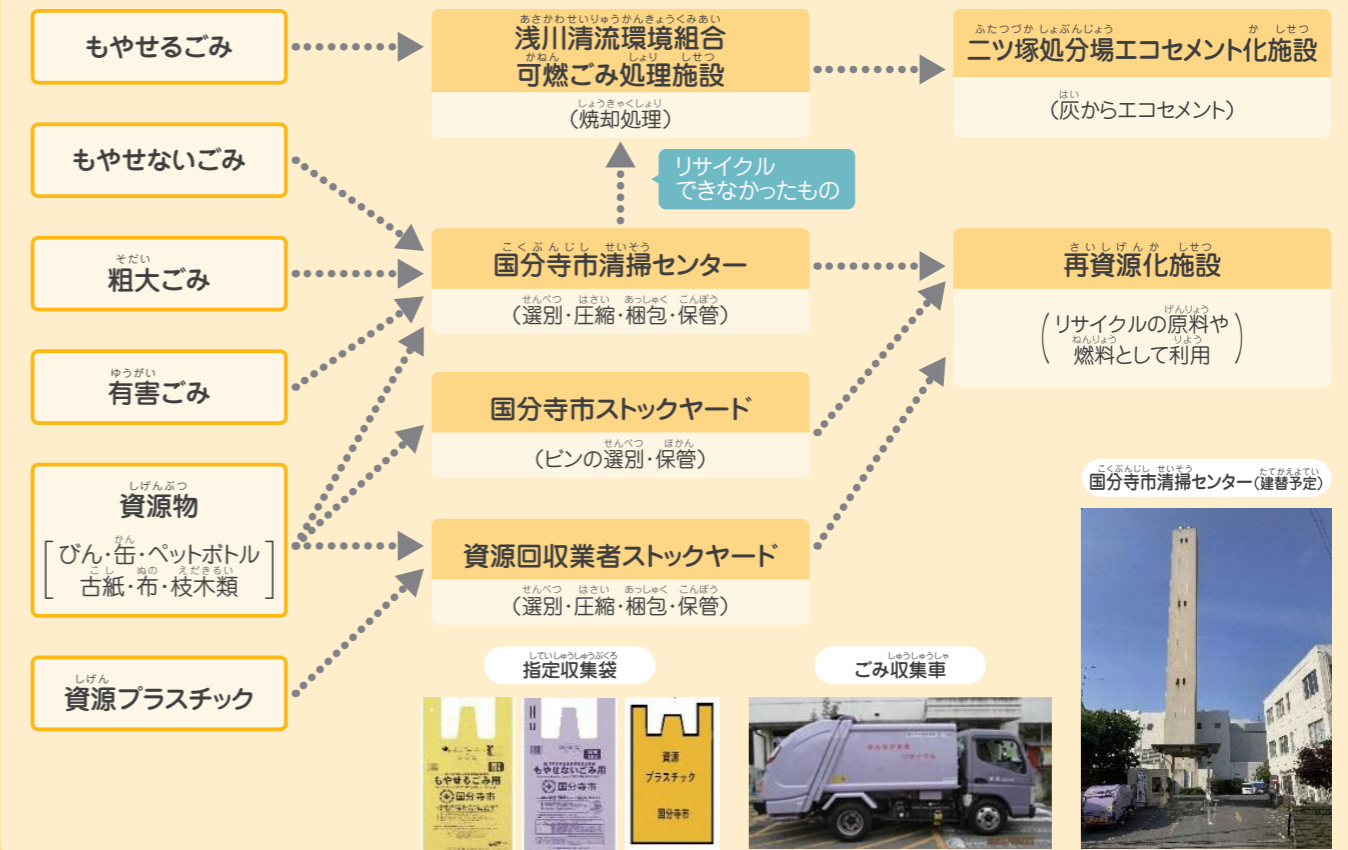
**A** 200人分の水や食料(1週間分)、毛布などを用意しています。

## 可燃ごみ処理施設からのお願い

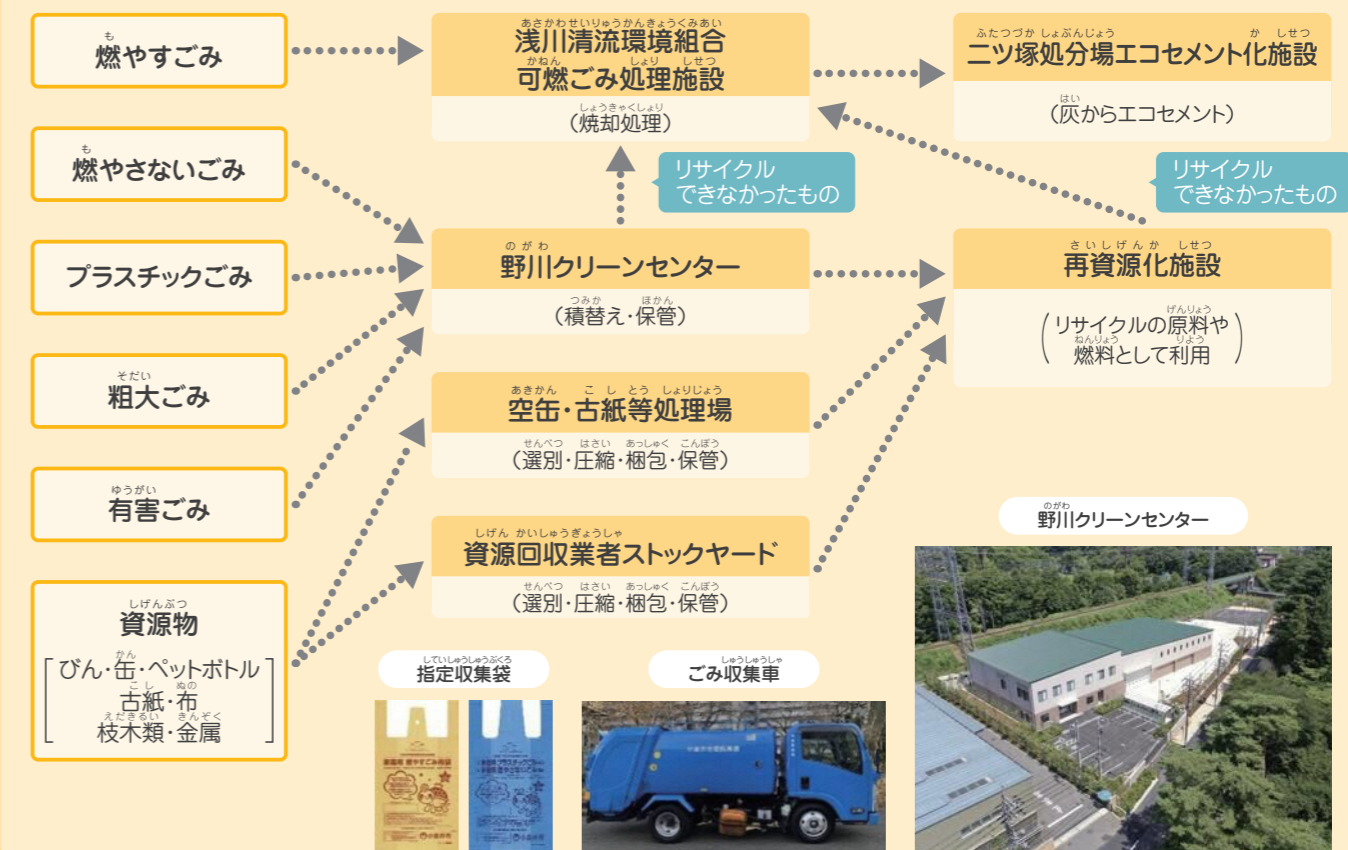
不燃ごみや有害ごみ(リチウムイオン電池など)を入れないでください。火災、機械の故障につながる可能性があります。



## 国分寺市 ~清潔で環境に優しい循環型都市~



## 小金井市 ~循環型都市「ごみゼロタウン小金井」-ごみを出さないライフスタイルへ~



# 可燃ごみ処理施設を見学しよう - 可燃ごみ処理の流れ -



## 処理の流れ

### 1 中央制御室



ごみを燃やした時に出るけむりが空気を汚さないように24時間チェックしています。

### 2 ごみ計量機



ごみ収集車は、施設に入るときに出るときにごみ計量機に載って車の重さを量り、持ち込んだごみの量を計算します。

### 3 プラットホーム



収集されたごみは、ここからごみピットへ投入されます。空気を外に出さないように、外から新鮮な空気を取り入れることで、中の臭いを出さないようにしています。

### 4 ごみピット・ごみクレーン



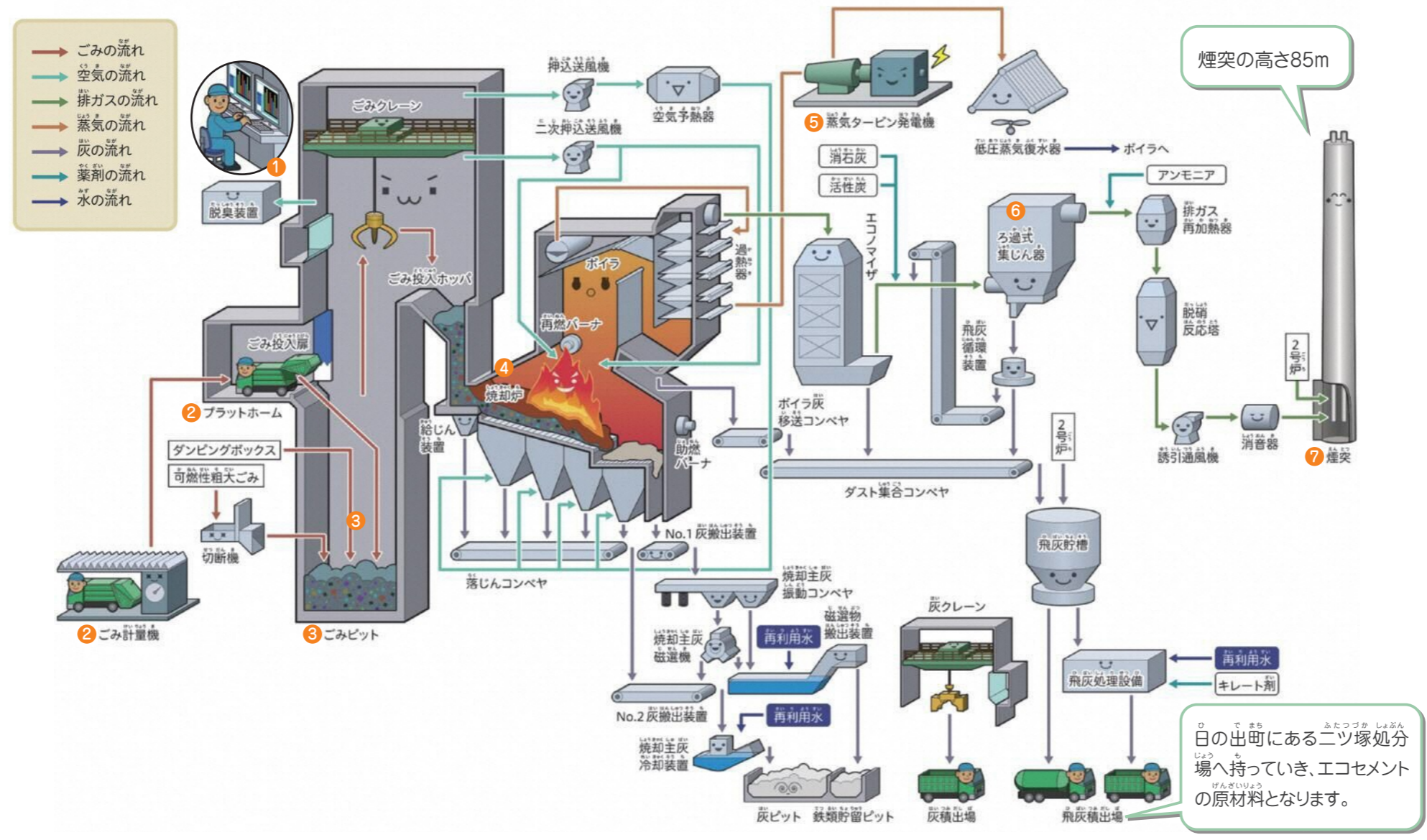
ごみピットは約1週間分のごみをためられます。ためられたごみは、クレーンで焼却炉(ごみ投入ホッパ)に投入されます。クレーンは1回に5トンつかむことができます。

### 5 焼却炉



1日228トンのごみを燃やせます。ごみは850度以上の高温で燃焼させ、ダイオキシン類等の有害な物質の発生を抑えます。

集められたごみは、環境や健康に影響がないように燃やし、その熱で電気を作ります。



## 8 煙突



高さ85mの煙突から、きれいにしたガスを出します。

## 7 ろ過式集じん器



ガスの中に入っているダイオキシン類などの有害物質をフィルタに集めます。

## 6 蒸気タービン発電機、ボイラ



ごみを燃やしたときに出る熱はボイラで回収し、温められた水から蒸気を発生させます。その蒸気で発電機のタービンを動かし、発電します。

## 情報発信・環境学習グループ（情報グループ）報告

### 1. 小学生向け「私たちの可燃ごみ処理施設」の編集について

- (1) 第2回情報グループ会議（9月6日） コモダ印刷担当者出席
  - ① コモダ印刷作成の初校の提示があった。
  - ② 事務局から、事前に検討した初稿の修正についてページごとに説明があり、委員からも具体的な修正意見を出した。
  - ③ 色彩、書体、字の大きさ等は、ユニバーサルデザインを意識して見やすく分かりやすくするように要望した。
  - ④ 行政委員より、小冊子末尾に「編集：3市ごみ減量推進市民会議」と記載したいとの提案があった。この提案に対し、「市民会議は提案機関であり編集者として記載するのは違和感がある。自分では判断できないので、宮脇委員長の事前了解を得て欲しい。」と申し上げた。
- (2) 第3回情報グループ会議（10月26日） コモダ印刷担当者出席
  - ① コモダ印刷作成の第2校の提示があった。  
前回の修正点は反映されているが、振り仮名が不統一で出来上がりがイメージしにくい状態であった。
  - ② ページごとに文章及び字句の修正等について意見を出し合った。
- (3) 今後の予定
  - ① 全体会議（11月21日）で意見聴取
  - ② 第4回情報グループ会議（12月）  
第3校による最終校正
  - ③ 教育委員会等の意見聴取（行政サイド）
  - ④ 印刷 令和6年1月（1万部作成）
  - ⑤ 児童への配布開始 令和6年4月～

### 2. 3市連携の特集記事の掲載について（提案）

- (1) 特集記事掲載の提案理由  
市民会議の提案により、過去2回（注）3市が発行しているごみ情報紙（市報含む）に浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設関連の特集記事を掲載しているが、3市市民に継続して情報を提供し理解と協力を得ることが重要であるので、令和6年3月15日発行の3市のごみ情報紙に3回目の特集記事を掲載することを提案したい。  
（注）令和2年3月15日号、令和4年3月15日号に掲載。

(2) 特集記事の内容（案）

① 可燃ごみ処理施設の状況

3年間の稼働状況、公害防止状況、今後の課題 等

② 3市の共同事業の紹介

水銀回収キャンペーン、コンタクトレンズ空ケース回収 等

③ 市民会議の活動紹介

- ・「私たちの可燃ごみ処理施設」の発行

市民会議の提案により実現した小学生向け小冊子「私たちの可燃ごみ処理施設」について写真入りで紹介する。

- ・食品ロスの市民アンケート結果

市民会議の提案で実現した3市民に対する「食品ロスアンケート」（10月実施）の結果を報告する。

④ 市長メッセージの掲載

3年間の総括と地元への感謝、市民への更なる分別の徹底と可燃ごみ減量を要請する市長メッセージを掲載する。

3市長連名メッセージか個別メッセージかは行政サイドの判断に委ねる。

なお、過去2回掲載した「市民会議メッセージ」は、今回は掲載しないこととしたい。（市民会議の提案で2件実現したことで活動状況は紹介できる。）

(3) 発行時期

令和6年3月15日発行の各市ごみ情報紙(市報含む)に掲載する。

以上



# 令和5年度 三市廃棄物減量推進市民会議 減量グループ

## 食品ロス意識調査（アンケート）結果報告書

2023/11/21

実施期間 令和5年10月1日から10月31日

対象 日野市、国分寺市、小金井市 市民

（一部小金井近隣市市民を含む）

方法 QRコード読み取りによるWebアンケート

### 内容

設問1 年代は？

設問2 お住いの市は？

設問3 「食品ロス」という言葉を知っていますか？

設問4 「食品ロス」を減らすために気をつけていること、  
取り組んでいることはありますか？

設問5-1 「気をつけていること、取り組んでいることに当てはまるのをすべて  
選択してください。

5-2 「食品ロス」を減らすために取り組めそうなものをすべて選択してください。

設問6 「食品ロス」を減らすことに取り組みにくい理由は何だと思えますか？  
（自由記述）

設問7 「食品ロス」を減らす取り組みを広めるために必要なことは何だと思えますか？  
（自由記述）

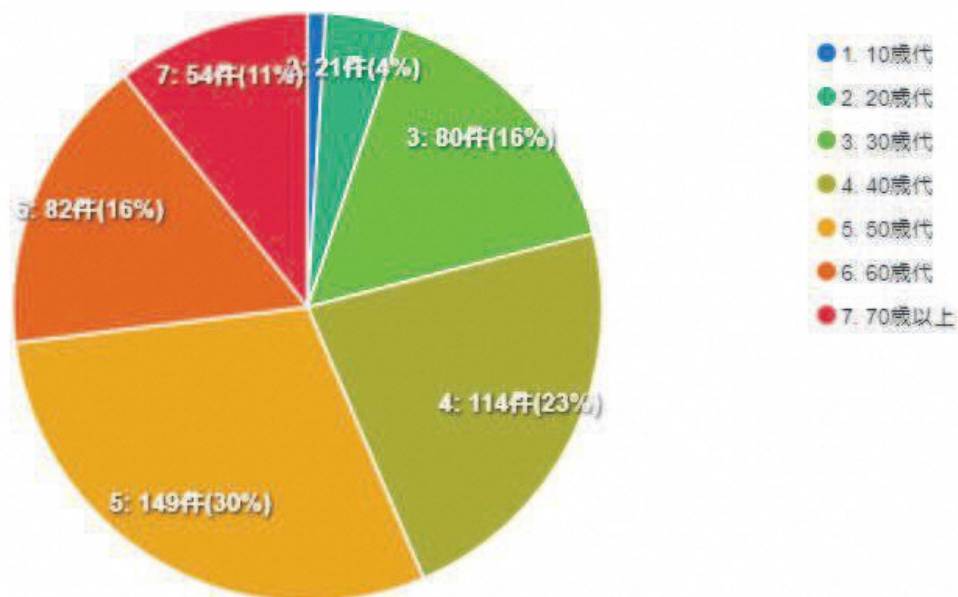
設問8 「食品ロス」について、あなたが知りたいことはありませんか？（自由記述）

# ご家庭における食品ロス意識調査

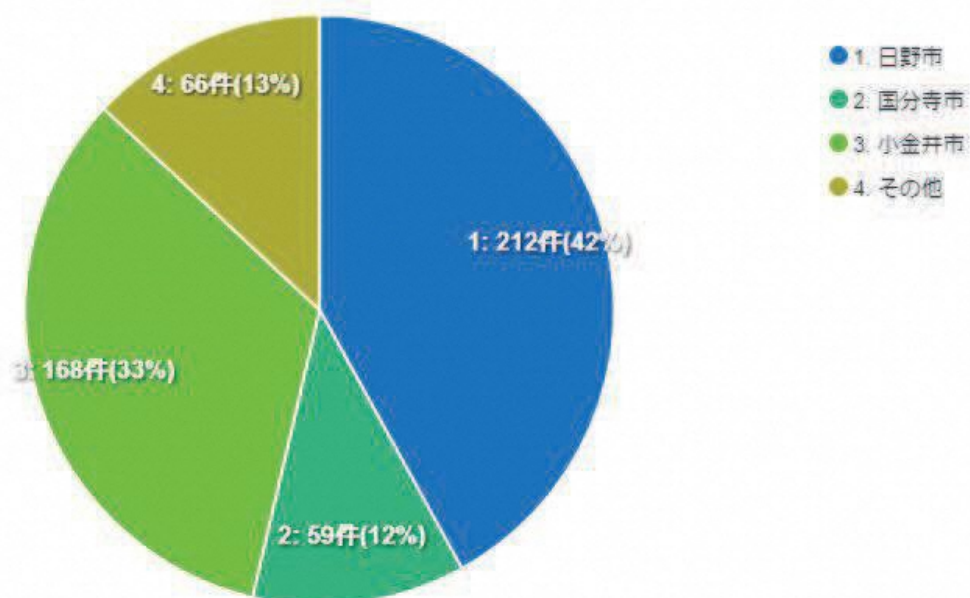
回答数推移



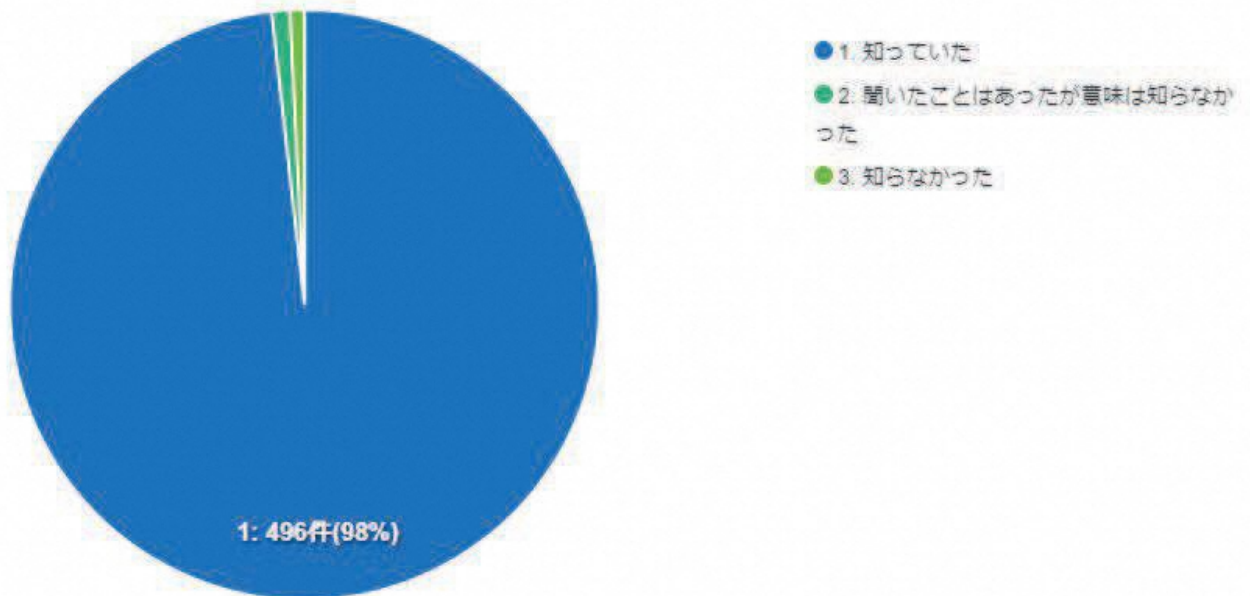
設問1 あなたの年代を教えてください。



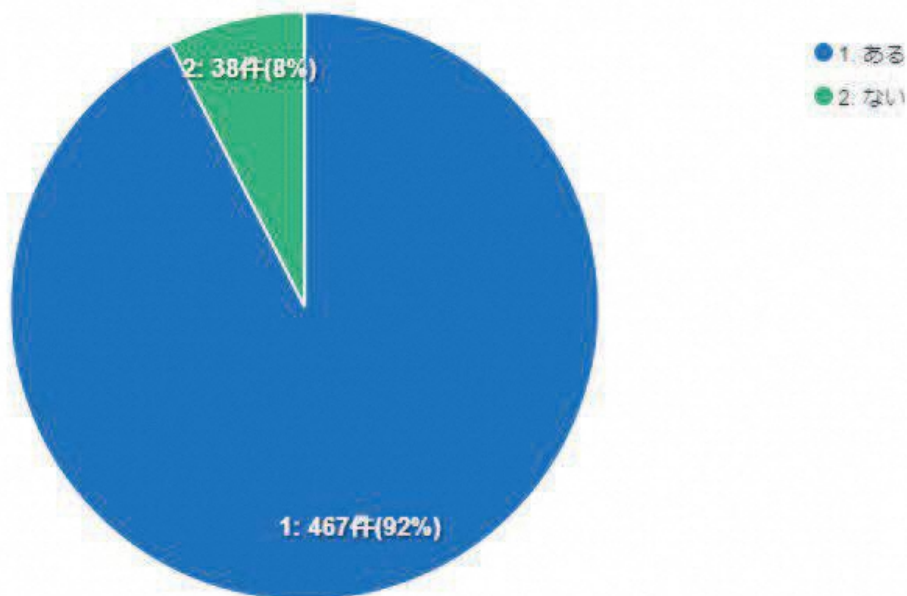
設問2 あなたがお住いの市を教えてください。



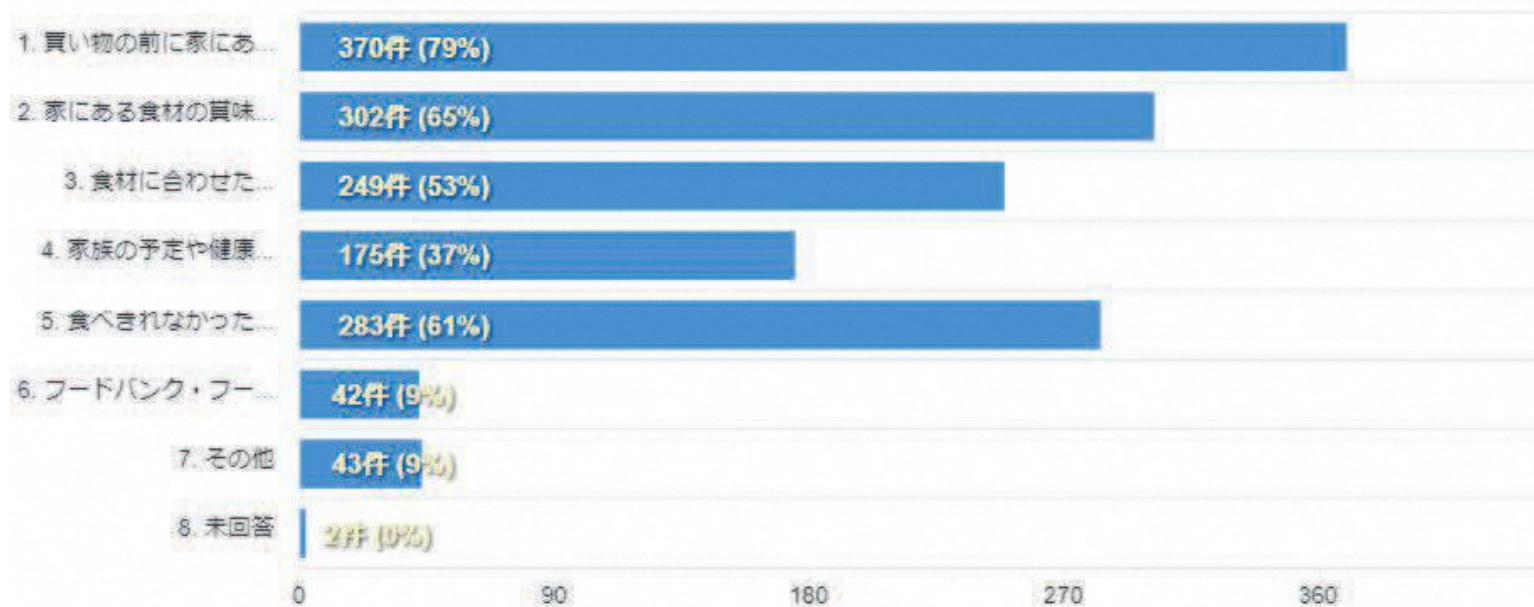
設問3 「食品ロス」という言葉を知っていましたか？



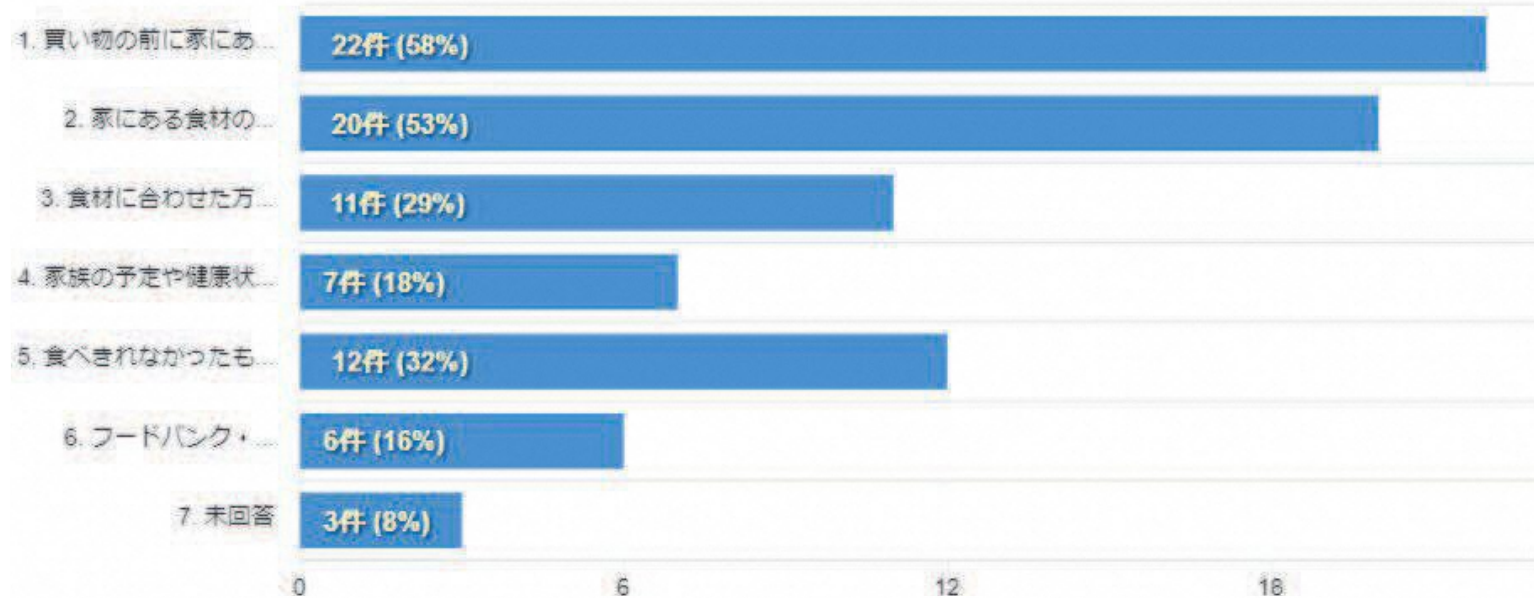
設問4 「食品ロス」を減らすために気を付けている・取り組んでいることはありますか。



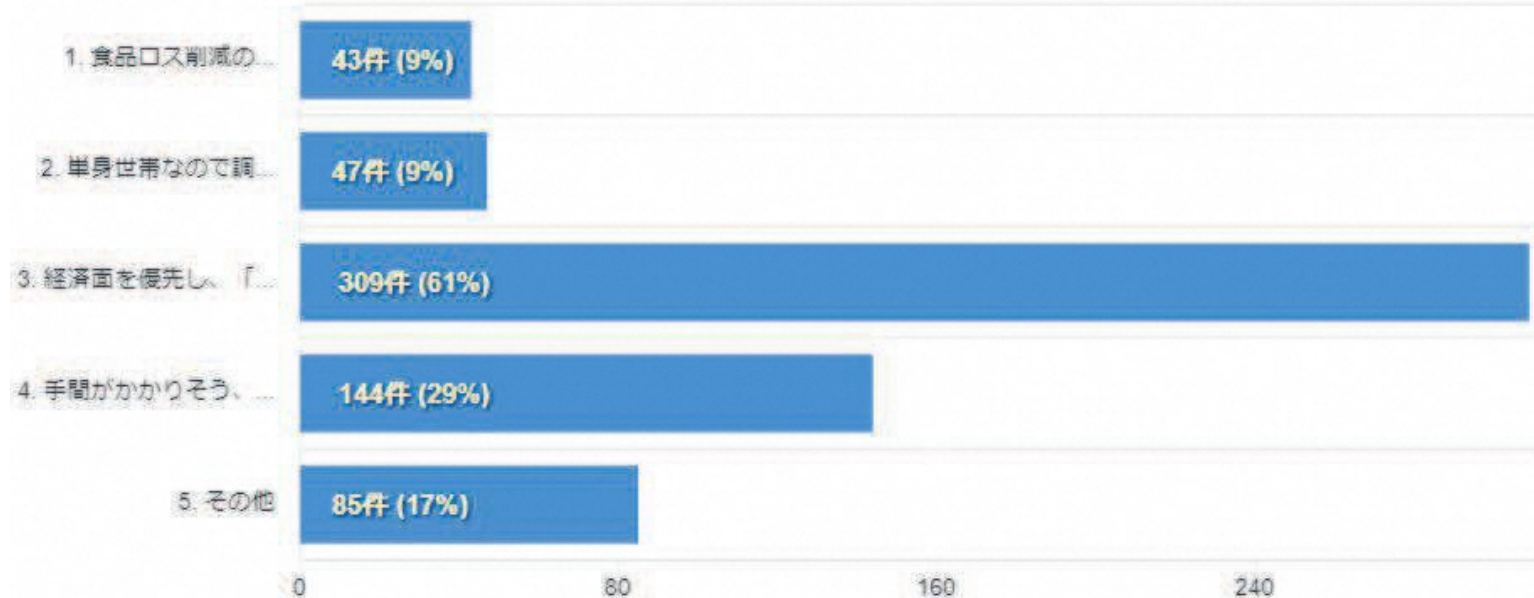
設問5-1 気を付けている・取り組んでいることについて、あてはまるものをすべて選択してください



設問5-2 「食品ロス」を減らす方法のうち、取り組みそうなものをすべて選択してください



設問6 「食品ロス」を減らすことに取り組みにくい理由は何だと思いますか？



### 3 市食品ロス意識調査の自由記述の集計結果

■設問 5-1 気を付けている・取り組んでいることの「その他」内訳 該当者数=43

#### ●家庭の食品ロス削減

##### <直接廃棄の削減（使い切り）>

- ・賞味期限が切れても、食べられるものは食べるようにしている 8件
- ・冷凍保存する 2件
- ・バラ売り、量り売り、小分け商品を選ぶ 2件
- ・食材を使い切るようにしている 2件
- ・おすそわけしている 2件
- ・子ども食堂へ寄付している 1件

##### <食べ残しの削減（食べ切り）>

- ・残さず食べる 9件
- ・料理を作りすぎない 1件
- ・余った料理をリメイクする 1件

##### <過剰除去の削減（エコクッキング）>

- ・野菜や果物の皮や葉、茎などもなるべく食べるようにしている 3件

#### ●小売店の食品ロス（売れ残り）削減

- ・期限間近な商品や期限間近な値引き商品をなるべく購入するようにしている 9件
- ・てまえどりをしている 4件
- ・ネットで売れ残り商品を割引価格で購入している 3件

#### ●飲食店の食品ロス（食べ残し）削減

- ・外食時にはシェアして残さず食べる 1件

その他 5件

●家庭に問題

- ・食べ物を捨てるのはもったいないという意識が低い 9件
- ・賞味期限を気にしすぎる 7件
- ・買いためすることがある 6件
- ・買いすぎてしまう 5件
- ・急に食事が要らなくなることがある 5件
- ・食品ロスの削減を自分事として捉えていない 3件
- ・子どもがご飯を残す 2件
- ・お土産やいただきものを、要らない食べ物でももらってしまう 2件
- ・食品ロスを出さないために気を付けなければならないことがわかっていない 1件
- ・買物前に冷蔵庫内の食材をチェックすることが習慣化されていない 1件
- ・野菜や果物はどの部分が食品ロスになるのかよくわからない 1件
- ・野菜の皮や外葉は農薬が気になる 1件

●事業者の問題

- ・小売店や飲食店などからも食品ロスが出ている 5件
- ・小売店は品切れを恐れ、在庫を抱えすぎている 2件
- ・バラ売りや小分け商品が少ない 2件
- ・少量のメニューがある飲食店が少ない 2件
- ・消費を煽っている 1件
- ・少量の食材は割高になっている 1件
- ・賞味期限が近い商品なのに値引きしていない 1件

●フードドライブに問題

- ・フードドライブは平日しか受け付けていない 2件
- ・フードドライブへ寄付したいが、いつどこへ持って行けばいいのかわからない 1件

●その他

- ・食品ロスはほとんど発生していない 10件
- ・取り組んでおり、取り組みにくいことはない 6件
- ・わからない・その他 11件

●国への要望

- ・国がテレビで食品ロス削減を呼びかけるのが効果的 5件
- ・賞味期限・消費期限の適正化 2件
- ・賞味期限の表示を大きく見やすくする 1件

●行政による啓発・

- ・食べ物を捨てるのはもったいないことを繰り返し訴えて、食品ロス削減意識を高める 25件
- ・食品ロスを減らすことによる経済的メリット、または食品ロスによる経済的デメリットを周知する(商品代金、ごみ袋代、収集処理費用) 19件
- ・食品ロス削減方法を具体例をあげて周知する 9件
- ・食品ロスの現状を周知する 6件
- ・消費期限と賞味期限の違いを理解してもらい、賞味期限が切れてもすぐに食べられなくなるわけではないことを周知する 4件
- ・生ごみを可燃ごみとは分けて収集し、食品ロスを見える化する 2件
- ・食品ロスをなくせば、ごみを減らせる 2件
- ・TABETEを活用する 1件

●子どもの教育

- ・学校や家庭で、子どもの時から食べ物を捨てるのはもったいないという意識を植え付ける 13件
- ・子どもに食べ物があることのありがたさを教える 2件
- ・子どもに好き嫌いなく食べることの重要性を教える 2件
- ・学校給食残渣を減らすため、学年に合った量の見直しや、味・献立の工夫をする 1件
- ・子どもに消費期限と賞味期限への理解を広める 1件

●家庭での取り組み

<直接廃棄の削減(使い切り)>

- ・必要な物だけ買う 27件
- ・賞味期限を過ぎてもすぐに捨てずに、食べられるものは食べるようにする 10件
- ・冷蔵庫内の食材の在庫を常にチェックする 5件
- ・適切に保存する 2件
- ・日持ちするものを買う 1件
- ・食材を使い切るようにする 1件

<食べ残しの削減(食べ切り)>

- ・料理を作りすぎない 5件
- ・残さず食べる 5件
- ・余った料理をリメイクする 3件
- ・残った料理は保存して、後日必ず食べる 1件

### ●小売店での取り組み

- ・ 少人数家族向けに、バラ売り、量り売り、小分け、少量パックを増やす（割高にしないで） 34 件
- ・ 期限間近の商品は値引きして売れ残らないようにする 12 件
- ・ 小売店は品切れを恐れず、廃棄が出るほど在庫を持たない 10 件
- ・ ポスターなどで食品ロス削減の具体例を紹介し、協力を呼びかける 5 件
- ・ 消費者はてまえどりをする 2 件
- ・ 恵方巻きやクリスマスなど売れ残りが出るようなイベントは控える 2 件

### ●飲食店での取り組み

- ・ 量を少なめに注文できるようにする 6 件
- ・ 食べ残した料理を持ち帰れるようにする 6 件
- ・ 利用客に食べ残さないよう働きかける 3 件
- ・ 料理が余らないよう工夫する 2 件

### ●フードドライブの活用

- ・ フードドライブが身近にあって利用しやすいようにする 9 件
- ・ スーパーなど身近な所に食品回収ボックスがあるとよい 5 件
- ・ フードドライブの設置場所や回収した食品の活用のされ方などを周知する 4 件
- ・ 期限間近の食品も受け入れてほしい 3 件
- ・ 余っている食品をフードドライブに寄付したい 2 件

その他 60 件



- 500 人のアンケート結果から

- ・「食品ロス」という言葉は浸透している。(98%)
- ・ほとんどの人(92%)が、「食品ロス」の削減を意識している。
- ・一方、アンケート回答者の中にも「食品ロス」削減の意義が理解できていない人、疑問を持つ人が一定程度いる。(7%) (10/140)
- ・フードバンク、フードドライブへの関心が見られた。(8%) (11/140)  
(開催場所、寄付品の行方、活用方法など)
- ・「フードロス(を無くすための)推奨サイトで購入」を紹介したらどうか。(石垣委員)  
Kuradashi、TABETE、Otameshi、No food Loss (fuubo フードロス削減 Box)
- ・以下の内容について具体的に知りたいと思っている市民が多いと感じた。(高松委員)  
(食品ロスの処理費用、家庭と企業から出る廃棄量、フードバンクの場所、  
フードバンクからの流れ、フードロスについて積極的に活動しているスーパー)

- 今後の取組み

今回の「食品ロス削減の取組の方向性 ～アンケート結果に基づく提案～」に基づき、三市で具体的に取り組むべきアクション項目をまとめ、次年度の活動に繋げる。

設問5-1 気を付けている・取り組んでいること(自由記述)

- ・ローリングストックを意識している。(小金井市30歳代)
- ・消費期限の近いものをお店で選んで購入し、家庭でロスにならないように保存方法の工夫や調理をしておいしく頂いています。(国分寺市40歳代)
- ・量り売り、バラ売り、小分け商品等を利用する。(国分寺市50歳代)
- ・消費期限に近い品物を買う。(その他50歳代)
- ・使い切ることや食べ残しを出さないように常日頃努力する。(小金井市40歳代)
- ・購入したもの、調理したものは全て食べきるようにしている。(小金井市60歳代)
- ・賞味期限切れのものも、傷んでないことが確認できたものは食べている。(小金井市40歳代)
- ・スーパー等で食品を買う際、手前から取って購入する。(小金井市60歳代)
- ・ロスになりそうな果物や野菜、その皮等は動物のエサにしている。(小金井市30歳代)
- ・多少の賞味期限切れでも食べる。冷凍する。(小金井市40歳代)
- ・生ゴミコンポスト(小金井市50歳代)
- ・賞味期限は過ぎても基本的に可食であり、五感で主体的かつ慎重に判断して、無駄に捨てない。(その他50歳代)
- ・残ったものは次回以降の食事で食べるので捨てることはない。(小金井市70歳代以上)
- ・買って来た野菜やお肉などまとめて小分け冷凍しておく。(小金井市20歳代)
- ・近所へおすそ分け。(小金井市40歳代)
- ・賞味期限を過ぎた食品でも、多少は気にせず食すようにしています。(小金井市60歳代)
- ・お店で購入する時に賞味期限が短いものから積極的に購入するように心がけている。(小金井市50歳代)
- ・後輩やご近所さんにお裾分けしている。(小金井市40歳代)
- ・高くても小包装の物を選ぶ。(小金井市50歳代)
- ・食べ残しをしない。(その他10歳代)
- ・残さず食べる。(その他40歳代)
- ・保存せずにその日に使いきれものは、コンビニやスーパー等で値下品になっているものを購入するようにしている。(国分寺市40歳代)
- ・たくさん作りすぎても全力で食べきる。(国分寺市20歳代)
- ・食べ残しをしない。多少期限が切れていても食べる。(その他40歳代)
- ・野菜の皮も食べるようにしている。(日野市50歳代)
- ・野菜の皮は捨てない、食べる。(日野市50歳代)

- ・食材購入の際、賞味期限や消費期限を見て、当日調理に使うものは期限の近いものを購入する。(日野市60歳代)
- ・残さず食べる。(日野市60歳代)
- ・手前どりを意識した買い物をしている。(日野市40歳代)
- ・ネットのサイトでフードロス食品を安く購入している。(日野市50歳代)
- ・生ごみは資源と言うことで99%土に還している。(日野市30歳代)
- ・賞味期限の近いものを買う。(日野市50歳代)
- ・食品ロスのリスクがあるものをネットで購入している。(日野市50歳代)
- ・お店でセールになっている生鮮品などを買う。(日野市60歳代)
- ・手前取り(日野市50歳代)
- ・子ども食堂への寄付(日野市60歳代)
- ・外食時に消費量が人により違うので、シェアして無駄を無くす。(日野市70歳代以上)
- ・野菜など葉っぱや、茎まで食べ尽くす。(日野市60歳代)
- ・そんなことしなくても、そもそもほとんどロスはない。(日野市50歳代)
- ・賞味期限直前で安くなっているものを買う、スーパーの陳列は前から取る、賞味期限をあまり細かく気にしない(食品によるが)など、基本的に、料理をしたもので、捨てることはない(国分寺市60歳代)
- ・フードロス推奨のサイトより購入している。(小金井市40歳代)
- ・食べ切れる量しか作らない。(その他50歳代)
- ・買わずにあるもので済ませる日を意識的につくっている。賞味期限は販売者側の理由でかなり短期でつけられていることを知ったので、賞味期限切れでも使えそうなものは捨てずに使うようにしている。賞味期限の近いものや off シールが貼ってあるものをレスキューする意味で積極的に購入する。(国分寺市40歳代)

設問6 「食品ロス」を減らすことに取り組みにくい理由は何だと思えますか？(自由記述)

- ・どうすれば減らせるかわかりにくい。実感が湧かない。(小金井市30歳代)
- ・欲しいと思ったときにすぐに物が手に入る環境が、物を最後まで大切に使用・消費する 気持ちを損なわせるのではないかと思われます。(国分寺市40歳代)
- ・外食時に、少なめやハーフサイズのメニューがある飲食店が少ない(国分寺市50歳代)
- ・飲食店や小売店から廃棄される食品の量は膨大で、利益の追求のためにはコントロールできない側面があると思うため。(その他30歳代)
- ・ご飯を残すな、と教育されているので、残さない。(小金井市40歳代)
- ・どのような理由をつけたとしても、結局は経済的に豊かなので、捨てることに痛みが無い。(小金井市60歳代)
- ・少ない量の食材は割高(小金井市50歳代)
- ・つい余計に買ってしまふ。(小金井市30歳代)
- ・企業が、売り切れによる機会逸失を恐れすぎて、在庫を抱えすぎている。(小金井市40歳代)
- ・飲食店で少量提供可の店が少ない、又は頼みづらい。賞味期限,消費期限切れ or 間近の食品廃棄(店舗,家庭)の問題。(小金井市60歳代)
- ・日々の暮らしが精一杯で他の事を振り返るだけの余裕がない。(小金井市40歳代)
- ・仕事で買い物になかなかいけないため、買いためすることが多い。(小金井市50歳代)
- ・小分けで買うのが難しい。(小金井市30歳代)
- ・フードバンクが平日しかやってない。生鮮食品を取り扱っていない。(小金井市40歳代)
- ・いただきます、という言葉がただのパフォーマンスに過ぎず、命の糧を頂く意識も低く教育も低くやる気もないから。(小金井市40歳代)
- ・消費を煽るビジネス形態(小金井市50歳代)
- ・パン屋でバイトしていて、毎日ロスが気になりますが、店やマネージャーの意向により、作りすぎる傾向があります。店頭で商品がスカスカだと、貧相に見えるから、との理由らしいですが、他店のパン屋は夕方には売り切りですし、作りすぎない方がいいと個人的には思っています。しかしマネージャーが店をゴージャスに演出したい、商品がみずぼらしいと貧弱で高級感が出ないから、と曲げない様子で、店舗の冷凍庫にはリメイク待ちのロスのパンが山積みで、個人的には見るたびに、様相にガッカリしてます。取り組みにくい理由は、私がただのバイトであり、店への発言権が無い事、店が風通しの良い意見を取り入れるやり方では無い事でもあります。(小金井市40歳代)

- ・そもそも、フードロスをするのでの何が問題なのかが理解してない人間が多い。世界の現状含め。(小金井市30歳代)
- ・多忙で家で食事をする機会を失うことがある。(小金井市60歳代)
- ・もし何かあったらとの恐れより溜め込んでしまうのでは、と想像します。(小金井市50歳代)
- ・家庭内で食品ロスは徹底していると思う。(小金井市40歳代)
- ・店舗販売において、当日賞味期限であるにも関わらず値引きしていないことや、大して値引かれておらず、手前どりを強要する傾向はよくわからない。(その他50歳代)
- ・買物前の冷蔵庫内のチェックが習慣化されていない。(小金井市70歳代以上)
- ・残菜・残飯は減らない、統計上はこうした食べられないものも含まれているのではないか。(小金井市60歳代)
- ・(育児中の場合)計画的に買い物をしていても、子どもの機嫌や状況によりその計画通りに食材を使えないことが多い(小金井市30歳代)
- ・突然の外泊で期限切れになるのを忘れて腐らせてしまう。(国分寺市30歳代)
- ・知識がありませんが、食品ロスの大半は店舗での食べ残しや期限切れ廃棄なのかなと思っていました。我が家では食品ロスはほとんど無く、一般家庭はそういうものだと思い込んでいましたが、そうでない世帯もあるのでしょうか。(小金井市40歳代)
- ・意識の低さ(小金井市40歳代)
- ・フードドライブの活用をしたいが、受付が限られている。平日のみでは出すことができない。(小金井市30歳代)
- ・どうしても賞味期限、消費期限を考えてしまうから。特に家族の考え方はそこを重視。(小金井市60歳代)
- ・食品業者の賞味期限(小金井市50歳代)
- ・子育てに追われていて、余裕がない。また過剰に衛生面が発達していて、すぐに捨てる。(小金井市40歳代)
- ・需要(食べたいときに食べたいものを食べただけ食べる)と供給(必要なときに必要なものを必要な量だけ供給する)のアンマッチによって発生する問題であり、食品ロスを減らすには物流システムが格段に向上するか、個人が精神的・身体的な負担を増やす(食べるのを我慢する、食品ロスを減らすための家事を増やす、等)ことが求められます。食品ロスを減らすことは個人の幸福度を下げることになっても実施すべきでしょうか？また、食品ロスを減らすことによって食料自給率がさらに低下し、有事のときに必要な量が調達できなくなることも懸念されるため、ある程度余剰のある状態をキープした方がよくないでしょうか？(小金井市40歳代)

- ・取り組みにくい理由が思い浮かびません。(小金井市40歳代)
- ・子供がご飯を残す。(小金井市30歳代)
- ・取り組んでいる。(小金井市70歳代以上)
- ・子供の気まぐれな食の要求にこたえたと予定していた食品が余ってしまう。(小金井市40歳代)
- ・家族の予定、健康状態で食事の変更がよくある。残った食事を翌日には食べる様にしているが追いつかないことがある。(国分寺市60歳代)
- ・平時なのに食料自給率が低く経済も衰退傾向にある日本で、よりその足を引っ張るような取り組みをすることは迷惑だから。(国分寺市30歳代)
- ・購入時に、なるべく賞味期限の長いものを購入してしまうなど食品ロスに対しての意識がそこまで強くないため。(日野市40歳代)
- ・スーパーで食品を選ぶとき、賞味期限(消費期限)が新しいものを選ぶ人が多い。手前取りや、近日中に食べる予定(調理する予定)であれば期限が短いものを選ぶという意識がある人が少ない。(小金井市40歳代)
- ・勿体ないとは感じるが、食品ロスによる影響(不利益)が自分自身にの実感としてないため取り組みが進まないと思う。(その他30歳代)
- ・消費期限や食中毒との兼ね合い。いらない食べ物をもらってしまうお土産や差し入れの文化(気持ちなので断れない)(国分寺市40歳代)
- ・そもそも食べ残しもしないし食品も捨てないので食品ロスが発生しない。(小金井市30歳代)
- ・国民が総じてフードロスに対する認識が低いこと。また、食べ物を残すことについて悪いとも申し訳ないとももったいないとも思わない人が多いと思われる。(国分寺市40歳代)
- ・仕方ないことだけど、スーパーの特売。安いのは今だけと思うと買いすぎてしまいます。西友のように、特売はないけど常に平均的に安い、というところが増えれば良い。(日野市50歳代)
- ・取り組みにくい、ということはない。(日野市40歳代)
- ・食品ロスを減らすべきだという認識が薄い。(日野市70歳代)
- ・食べ残しが余り無い。(日野市50歳代)
- ・食品ロスによって自身が被る損害やリスクを実感しにくいいため、どうしても自分事として捉えられない。(日野市40歳代)
- ・若い世代は、飽食の時代に生きていて、食べ物を残すことに罪悪感を持たない傾向があるのではないか。(日野市60歳代)
- ・生鮮品が特売されていると、つい買いたくなる。必要に迫られて買うと高くなる事が多いから。

(日野市70歳代以上)

- ・忙しくて買いものに出かける頻度が少なく、買いだめ、宅配生協の利用をするが、足りなくならないように買いすぎ、結果として食品ロスにつながっている。(日野市40歳代)
- ・野菜や果物などはどの部分が食品ロスなのか良く分からない。また、農薬が気になるので皮やキャベツの外葉は食べたくないと思ってしまう。(日野市30歳代)
- ・食品小売店、飲食店で品の切れを恐れないこと。消費者もそれを批判しない社会にすること。衣類もそうだと思う。消費者個々に落ち度があるような論調が間違っている。(日野市50歳代)
- ・食品ロスがほとんどないのでわからない。(日野市70歳代以上)
- ・我が家では、ロスを出してる意識が無い。(日野市60歳代)
- ・家庭では食べ切ることを意識しているのでロスはほぼないので、取り組みにくさは感じないです。初老夫婦二人の生活だから出来るのかもしれませんがね。(日野市50歳代)
- ・取り組んでいる。(日野市50歳代)
- ・いらぬ物を買う習慣が、そもそもない。(日野市50歳代)
- ・取り組みにくいとは思わない。ただ、一般家庭が取り組むことに加えてスーパーやコンビニなどでの食品ロス削減をもっと真剣に取り組んだほうが良いと思う。(日野市30歳代)
- ・取り組みにくいことはない。(日野市50歳代)
- ・具体的な提案がないので ただロスを出さないことしかできない。(日野市50歳代)
- ・賞味期限と消費期限、ちゃんと理解されていない。開封後の使用期限が表示されていない為、怪しいものは破棄する事になる。(日野市50歳代)
- ・フードバンクへの寄付などしたいが、雑多な寄付はむしろ迷惑ではないかと心配する。また、どこへいつ持っていけばいいのかいまいちわからない。(日野市40歳代)
- ・場面ごとに具体的に気をつけることがわかっていないから。(日野市50歳代)
- ・家庭より外食、コンビニ等が多いのでは？全体の割合と家庭で減らすべき理由を明示すべき。(日野市40歳代)
- ・見積もりが下手(日野市50歳代)
- ・家では食べきれず廃棄することは、ほとんどないので、家庭から多くの食品ロスが出ているのか疑問に思いました。コンビニ、スーパー、飲食店、食品工場などから出る食品ロスを、法律などでの何かしらの対策が必要なのではと思います。(日野市40歳代)
- ・食材を中々使いきれない事がある。(日野市30歳代)
- ・取り組みにくい。(日野市30歳代)
- ・賞味期限にとらわれている。(日野市50歳代)

- ・他人事として捉えているから。(日野市70歳代以上)
- ・期限前に、破棄したりしている。(日野市60歳代)
- ・だから、なんで出るの？賞味期限なんか気にしなければいいだけ。(日野市50歳代)
- ・販売店のパッケージされている為必要以上に買わされる。販売店の意識を変える必要が有ると思う。(日野市70歳代以上)
- ・冷蔵庫があるため保存ができ、多めに購入と使用忘れが発生するため。(日野市40歳代)
- ・そこに意識を向けられるほど生活そのものに余裕のない方も多そうです。(国分寺市40歳代)
- ・長期保存の食品についてはつい「いつか」に備えてそのままにしてしまい期限切れにしてしまうことが多い。いただき物の食品は嗜好が合わないといつ手を出さずに放置してしまう。家族の急な予定が重なった時余らせてしまう。(小金井市50歳代)



設問7 「食品ロス」を減らす取組みを広めるために必要なことは何だと思いませんか？

お考えがあればお聞かせください。(自由記述)

- ・見える化。賞味期限を大きく見やすくしてもらいたい。ケチャップやマヨネーズは買い置きするので自分で大きく書いて貼っている。(小金井市60歳代)
- ・命をいただく大切さをもっと自分事として分かってもらう。SNS とかを利用して若者にも広める。(国分寺市20歳代)
- ・必要な分だけ、購入して、買ったものは食べきる努力をすること…ゴミの削減にもつながると思う。(小金井市60歳代)
- ・食材の少量販売をもっと増やす。(国分寺市60歳代)
- ・面倒はイヤだけど、こうしたからこれだけ減らせたみたいなのが見える化されると実感が湧きやすいかも？(小金井市30歳代)
- ・飲食店や惣菜販売店、スーパーなどで促進ポスターを掲示したり、賞味期限が近い食材を使った飲食物をキッチンカーで販売したりと、市民に意識付ける必要があると感じています。(小金井市20歳代)
- ・実際に起こっている、食品廃棄の状況の周知と、周知方法の多様化。(国分寺市50歳代)
- ・スーパーなどの短期間特売。まとめ買い割引は避けた方が。(国分寺市60歳代)
- ・食品ロスを減らす肝は食材管理にあると思う。いまそのためのアプリがいろいろ出てるので、それらを紹介しつつ取組みを広めたらいいと思う。(小金井市60歳代)
- ・単身者向けに、一食分ぐらいにできるだけ食材を小分けして販売する。特に冷凍できない野菜果物など。スーパーのレジ業務の効率化(コンビニ並の手軽さ速さで)そうすれば毎日でも通えてまとめ買いが減る。(小金井市50歳代)
- ・野菜や肉魚を必要な量で買える事。一つずつなど 個々に販売して欲しい。(国分寺市60歳代)
- ・必要以上に買いためをしない。食べ残しを出さない。(小金井市60歳代)
- ・子供たちの食育(好き嫌いをなくす)。一家庭で食品をロスした年平均金額を公表。食品のロスは購入したお金のロスそして、所得金額のロスにつながる事を意識づける。(国分寺市40歳代)
- ・単身者や自炊で消費が少ない世帯が不必要な量を購入する必要がないよう食材小分け販売の推進(日野市40歳代)
- ・市民、小売店や飲食店等の事業者、両方への情報発信(国分寺市50歳代)

- ・フードドライブなど良い方法だと思う。いつ、どこで分かりやすくして欲しい。清掃センターが早くできると良いですが。(国分寺市 70 歳代以上)
- ・モノがあふれないようなシステムを構築する。(小金井市 50 歳代)
- ・食べ物を捨てるのはもったいないことを繰り返し訴えること。(日野市 70 歳代以上)
- ・使い切りできる量(特に単身用)を販売する店舗を増やす(特に大規模店舗での取り組み)(小金井市 50 歳代)
- ・消費者として商品を購入する際に、小売店などで謳われている「手前どり」などを実践すること。(その他 30 歳代)
- ・小学校などの修学課程に取り入れ、小さいうちから食品ロスについて意識付けを行う。(その他 50 歳代)
- ・有ればいいな、では食品(他の物も同様)を購入しないこと(小金井市 60 歳代)
- ・“様々な個数での販売(魚一切れ、二切れ、三切れなど)。学校での教育。賞味期限と消費期限の理解の普及、保存方法のさらなる開発”(小金井市 40 歳代)
- ・“無駄なものは買わない。目の前に出されたご飯は全て食べろ。”(小金井市 40 歳代)
- ・必要に応じて作る。(小金井市 50 歳代)
- ・遅い時間にはお惣菜などの消費期限が短い商品に売り切れがあつて当たり前と思う気持ち(小金井市 40 歳代)
- ・“販売者側の手間などに問題があるとは思いますが、野菜などは少量でも売ってほしい。(売っているけれど割高とか、少量で売っている野菜が限られているなど)これからますます高齢化・小世帯化社会になっていくと思われまますので必要な分だけ購入できるようになればよいと思います。”(小金井市 50 歳代)
- ・買いすぎない(小金井市 30 歳代)
- ・こまめに買い物をする(国分寺市 70 歳代以上)
- ・「お店で売っている、適正な賞味期限・消費期限のものが安全な食べ物」→「お店で売っている食品以外は危険」「お店で売っているような姿形の野菜や果物じゃなければ、食べるのに適した状態ではない」「賞味期限・消費期限が切れたら危険」というような思い込みを、消費者が捨てること。(小金井市 40 歳代)
- ・具体例があるとわかりやすい。概念の啓発よりも、方法論を伝えるほうがよい。(小金井市 40 歳代)
- ・消費期限と賞味期限の違い、生鮮食品の食べれないギリギリなどを啓蒙してほしい。(小金井市 40 歳代)
- ・“賞味期限、消費期限間近の食品の割引販売拡大。”食べ物を残すことはもったいないという意識を持てるよう、小学教育内容に盛り込む。(現在既に盛り込まれているのであれば、さらに意識できるように)(小金井市 60 歳代)
- ・大手資本のチェーン店の飲食店、小売販売店の供給過多を減らす。(小金井市 40 歳代)
- ・近年のようにキャンペーンや広告などで広く訴え続けることは有効だと思う(小金井市 50 歳)

代)

・“冷蔵庫の中身を確認せず、スーパーで考えずに買いためすることが原因だと思っております。この「無駄買い」をすることによって、冷蔵庫にある同じ商品を買って消費期限切れになって捨てたり、食べ切れずすてることになっています。しかし、ニュース記事を見ていると片付けられない、整理整頓ができない人たちが想像以上に多いそうです。片付けができない＝頭で整理して必要なものだけを買うことができないのです。子どもの頃からの生活習慣で、掃除すること整理整頓を心がけることが選択しながら買い物できて調理できることに繋がると考えます。また、豊かな日本は夕食のおかずを作りすぎている傾向があると思います。腹八分目が身体に良いとされています。米を炊くときも、その日に食べ切れる量のみを炊くように心がける。”(小金井市 40 歳代)

・フレキシブルな販売方法、もっと少ないパック等(小金井市 30 歳代)

・食品ロスが、他人事になってしまっていると思うので、ひとりひとりの意識から変えていく必要があると思う。幼稚園、小学生からの指導が一番自然で抵抗なく受け入れられると思う。(小金井市 40 歳代)

・“食品ロスを減らす工夫をしているお店や食品メーカーや企業がマークを表示できる、何かしらの助成をする、など。どんなことが食品ロスを減らすことになるかを CM や広告で流す。学校や幼稚園保育園などにも食品ロスを減らすことや、子ども達と食品ロスについて学ぶ時間をつくる。”(小金井市 40 歳代)

・“まずは企業から。ハロウィン、クリスマス、恵方巻きなんて他の文化。2 個で 500 円とかまとめ買いさせない。廃品回収ならぬ、食品回収でもするといい。子ども食堂とかにまわす。テレビでも鉄腕 DASH みたいにゼロ円食堂やればいい。”(小金井市 40 歳代)

・“在庫を補充しておくことと、買いためをすることは意味が違います。期限を見て必要な分だけ在庫を買っておくのは補充。とにかく沢山揃えておだけなのは買いため。期限切れで廃棄することは最も無駄になるので、必要な分だけに徹することが大切。”(小金井市 50 歳代)

・“啓蒙活動とメリットデメリットの見える化。捨てる事にコストがかかるようにする”(小金井市 50 歳代)

・“パック販売から、必要な数だけ買う個数販売へ、包装削減も出来る液体物は、量り売りを行う”(小金井市 70 歳以上)

・経済的にメリットがある事、きちんと管理したら災害時の非常食の準備にもなる事、ロスする事がもったいないことなどをどんどん啓蒙したらいいと思う。(小金井市 50 歳代)

・“添加物世界一の日本が自作自演で騒ぎ立ててる茶番にすぎない。農家を大切にしない、食料時給率は恐ろしく低い日本という事実を隠す為の目眩しにも使われている。世界に金をばら撒き、目を向ける岸田増税を肯定し、日本を弱体化する事にも役に立っている。それを言う「陰謀論」とまくし立てて煙に巻き、結局意見も聞かなければ「そう意見もありますよね」というふんわりしたかわすだけ、小金井市でも日野でも国分寺市でも食糧自給率を 100%にする政策をする事。高いマンション建てて人口増やして年収上げるやり方や再開発の「金」にばか

り目を向けている。金で家は買えるが家族は買えない。金で保険は入れて安心は買えるが安全は買えない。立派な布団は買っても良質な睡眠は買えない。病院で治療する事は金でできるが、健康は買えない。学校の牛乳すら辞められてない勉強不足の議員達に何を言っても無駄だ。食品ロスを減らす為に出来る最高の事は利権で動き町に顔が広くて票を集められて何の効果ももたらさない議員を辞めさせる事だ”(小金井市 40 歳代)

・量り売り店を増やし、使い切りの食品包装を減らしていく。必要な分だけ必要な量を買うカルチャーを主流化する。(小金井市 50 歳代)

・“食品ロスを減らすには、まずは自分の身の回りにどれだけの食品があるのかを知ること、それが本当に必要な量なのか、考える機会が必要かと思います。どこでもいつでも食料が手に入る便利な状況が結局、ロスを生み出す原因にもなっているわけです。”(小金井市 30 歳代)

・“上記のパン屋の話になりますが、夕方売り切り形式に変えて、作りすぎないことです。コンビニもいつでも商品がビッシリで、廃棄の弁当が多いのも、スーパーのパンも下げるパンが多いのも、変です。コンビニもスーパーも廃棄するほど食品が並ぶのはおかしい。けど、そうすると買い占め軍団が出ますよね。”(小金井市 40 歳代)

・賞味期限と消費期限の違いについてもっと周知すること(消費期限が切れていても意外と食べられるものは多いです)(国分寺市 30 歳代)

・オシャレでお得、ゴミ出しも減ってラクチンな心掛けであることのアピール(その他 50 歳代)

・食べものは他の生き物の命です。大切にしなければなりません。感謝して食べていたら残すことはなくなります。(小金井市 70 歳以上)

・ほかの先進諸国のように自国農業を積極的に国が支援して(補助等)、当たり前のように国産野菜等が手に入る環境を作る。一自治体ごとに学校の食育等を行うより国策として実施したほうが余程効果的と思われる。(その他 40 歳代)

・世界の現状を話す。サステナブルな社会を目指すために。(小金井市 30 歳代)

・“駅やコンビニなど、多くの人が毎日立ち寄りやすいフードバンク寄付拠点の常設”(小金井市 40 歳代)

・食に対して国民が一から見直すべき。(小金井市 60 歳代)

・年間の廃棄量など、どれだけ無駄になっているかを継続的に広報する必要がある。また販売店でも量り売りや一個売りなどを推進すべき。JA による「見た目の美しさ」を基準とした農作物の選別を見直すべき。生産地だけではなく、形の悪い「B 品」も広く流通できれば、安さという点で消費者も助かるし、川上での食品のロスにつながる。個々人の努力も大切だが、企業の作りすぎの是正、賞味期限の近い商品を再利用できるルートの確立などできることはたくさんある。近年のコンビニでの恵方巻の予約販売などは一例だと思う。(小金井市 60 歳代)

・“メンタル面での飢餓??の不安や恐れを取り除くこと。冷蔵庫にいっぱい詰まっていることで安心感を別の価値観にすること。”(小金井市 50 歳代)

・外食で注文したものは食べますが、スーパーや厨房などでは賞味期限が切れたものはどうしているのでしょうか。その管理運営が取り組みに影響を与えていると思います。(小金井市 40

歳代)

- ・賞味期限が切れても食べきる。なるべく少量パックの食品を買って調整しやすくする。(その他 40 歳代)
- ・販売食料品の内容量を少なくすること。(その他 50 歳代)
- ・少量販売(その他 50 歳代)
- ・“一人一人に自分ごととして食品ロスを減らす意識を持たせるような日常的な広報。食品ロスの実態(自家消費、外食など)。消費期限、賞味期限。お持ち帰りのすすめ。スマホで冷蔵庫内の管理が出来るリストを作ってみようと思います。”(小金井市 70 歳以上)
- ・外食産業が作り置きをしないこと(小金井市 40 歳代)
- ・消費期限、賞味期限を明確にして、食べることができる基準を消費者側で判断できるようにしたい。(その他 40 歳代)
- ・“実際、どのくらいの食品ロスが発生しているのか、廃棄の場の見学や食品ロスにかかるコストを知る、体験機会を設ける。市の食品ロスの状況を定期的に発信する。学校での教育。まず、関心を持ってもらう必要がある。”(小金井市 50 歳代)
- ・食料はいつ、どこでも手軽に手に入るものではなく、食材が手元に届くまでの大変さや危機的状况について、周知啓発を徹底こと。(その他 50 歳代)
- ・パック売りをやめて、もっと小ロットで買えるといい。カット野菜を増やして、ゴミになる部分をプロが事前に外す(素人が各家庭でやるより無駄がないと思う)(小金井市 60 歳代)
- ・食品ロスを減らす取組みをすると、具体的に自分達にはどのようなメリットがあるのかが分かる必要があると思う。例えばゴミを処分するための費用が〇〇円削減できて、その費用で〇〇が出来るようになる、といったもの。その費用が教育への支援になるなら、食品ロス削減教育に取り組もうとする人はいるのではないかなと思う。(小金井市 40 歳代)
- ・無駄をなくすという各自の意識改革をすること、また、今も行っているが、具体的な食品ロスの可視化を引き続き行うことが必要だと思う。(小金井市 50 歳代)
- ・生産過程(どれほど手間がかかるか)の周知・教育、減少によりお得になる(ポイント化とか)仕組みづくり(小金井市 30 歳代)
- ・日持ちするものを買う(小金井市 50 歳代)
- ・寄付しやすい環境作り(国分寺市 30 歳代)
- ・家庭内で行っている取組みの他に、地域で取り組めるものが一般化すると思います。フードバンク等だけでなく、持ち寄った野菜で味噌汁を作ったり、スパイスと野菜でソースやカレーを作ったりできると思います。(小金井市 40 歳代)
- ・“賞味期限の意味を取り違えている人は多いのかと思います。過ぎたら食べられない消費期限と混同して捨てている方は多いのでは。都が以前やっていた、会食の最後の 15 分だかを残りを食べる時間にするという取組みは良いと思います。だいぶ昔ですが、パン屋でアルバイトしていた時、売れ残りの廃棄量がとても多くて衝撃でした。売れるだけ作れるよう、IT の力なども借りて予測することを、小規模店含めてできるように何か政策からも支援できると良いのか

など思いました。”(小金井市 40 歳代)

・もったいないと、その人が思うこと。それについてできることがないか考えることが大事。個人の意識を高める為に、継続的な啓発活動が必要だと思います。(国分寺市 40 歳代)

・食品ロスを減らすことによるメリットを広く知らせる(小金井市 30 歳代)

・以前デパートの食品売り場で働いていましたが、売れ残りの弁当やお惣菜は廃棄してました。様々な種類をたくさん並べ綺麗で美味しそうに見せる。他店にはない物を作って差別化をはかる。物で溢れている中で客は欲求に任せてつい買ってしまい、家の冷蔵庫やパントリーの在庫は後回しになっているのではないのでしょうか。各家庭に訴えるのは個々人の意識の問題があり、なかなか難しいかと思います。環境(売り方、賞味期限の見直し)から変える必要があるのではないのでしょうか。(小金井市 40 歳代)

・調理は簡単にできて、自炊できるのはかっこいい。リメイク料理は腕の見せところの浸透を図る(小金井市 40 歳代)

・最近通販などでも見かけますが、いわゆる「訳あり」商品をもっと積極的に出して良いと思います。(小金井市 50 歳代)

・“安ければ良い！という考え方が間違い。必要な物を、必要なだけ購入する事が一番の食品ロスだという考えを皆が持つ事だと思います。安いからたくさん購入！は、結果として食品ロスとなってしまう原因である事を伝える必要性があると思います。企業優先の今の社会では、そのような事を大声で言う事は御法度なのかも。確かに、企業イメージを考えると、ステキな SDGs ということばですが、利益を考えれば、真逆のはずですよ。あとは、消費者が購買宣伝文句に惑わされず、賢く購入するしかありません。それでも、そういう消費者の労働先が、企業であるのですから、関わりのある方は、わかっているても何も言えず。という状況なのでしょう。うーん。悩ましい。”(小金井市 60 歳代)

・必要な分しか買わない、多く作りすぎない、贅沢をしない、ということが重要だと思っている。ついつい買すぎてしまったり食べ残してしまったりということがないように気をつけていきたいと思っている。(小金井市 50 歳代)

・フードバンクは特別な活動のように感じてしまっています。もっとアクセスしやすく身近になれば気軽に参加できるかもしれません。(小金井市 50 歳代)

・いまの国内で食品ロスを減らすことのメリットを具体的に数字で示すこと。アフリカでは満足に食べられない人もいます、みたいな抽象的な比較論ではあまり実感が湧かずに日本での生活の改善にはつながらなさそう。(小金井市 30 歳代)

・賞味期限間近の品物の回収、配布。格安販売。(小金井市 50 歳代)

・“1) 計り売りのお店を増やす。2) 添加物たっぷりの食品を増やす。3) 乾物の活用術を広報する。4) 冷凍食品を増やす”(小金井市 40 歳代)

・食品ロスが経済的負担として、自分に跳ね返ってくることを周知する。(小金井市 50 歳代)

・テレビ CM やテレビ番組で宣伝してもらうのが一番効果があると思う。(小金井市 50 歳代)

・家庭では使い切れる量のみ購入する癖をつける。そのために、小売店は陳列棚の見栄え感

のためのいつでも豊富にある状態や、小分けパッケージを減らして、量り売りを啓発して推進する。(小金井市 50 歳代)

・公の場で挨拶、話をする人の話題の中に短くてもいいから必ず一項目入れて頂き、誰もが当たり前の事として認識出来るようにする。(小金井市 70 歳以上)

・子どもがいるとどうしても残飯が出てしまうため、コンポストを導入して堆肥にしています。(小金井市 30 歳代)

・自治体や関係機関からの声かけマスコミからの協力自覚を持つての取り組み”(小金井市 50 歳代)

・個人の幸福度を下げるなど、デメリットが発生しない具体的な取り組み方法。(小金井市 40 歳代)

・行政等が、市民に対して色々な機会を活用して広報や周知をしていく。(国分寺市 50 歳代)

・忘れていて、賞味期限が過ぎたりして捨てることがあるので、そこを気付かせる仕掛けがあれば良いかと。また、持ち帰りのドギーバッグを市も関わって普及させることができればと思います。(小金井市 40 歳代)

・競争心や、誰かを助けたい気持ちをあおる施策(結果に応じで褒賞、、など)(小金井市 30 歳代)

・“問題を子どももわかるアニメ化して至る所で放送できると意識レベルで定着しやすくなる気がします”(小金井市 40 歳代)

・残さず食べる(その他 10 歳代)

・啓蒙活動(小金井市 60 歳代)

・“もらったりして、あまり好みでない食材を寄付などする。食べ物を無駄にしないように分かってもらうために、生産しているところを積極的に見せる。例えば、畑、食肉、たまご、缶詰、食品工事など。”(小金井市 50 歳代)

・「いただきます」の気持ちを大切にし、命をいただいているという認識を子ども時代から教育していくことだと思います。(その他 50 歳代)

・ロス分を見える化するしかないと思います。広い空間にプロジェクションマッピングでは無理だろうか。ジュースに含まれる砂糖を角砂糖の個数で表すように、目で見える形にしないと、自分ごとにとらえられない。(国分寺市 30 歳代)

・過剰生産を無くす。(小金井市 20 歳代)

・“個人の努力はもちろんですが、例えばスーパーの各コーナーに、「家に〇が残っているなら〇を買えば〜が作れる」のようなレシピや検索機械があつたり、急な外食や旅行が続いて廃棄が出そうな時に、まだ食べられそうな食品を譲る場所があつたりすると良いと思います。単身ということもあり、もらったお菓子なども食べきれないまま消費期限が過ぎて処分することがあります。安全面、衛生面などの課題はもちろんあると思うので、誰が持ち込んだかなどは明らかにしておく必要があるとは思いますが、そういう食べきれないものを食べられる人に譲れる仕組みがあると良いのになあと思います。”(小金井市 30 歳代)

- ・必要以上の買物をして食べきれなくなる(国分寺市 70 歳以上)
- ・人参などがまとめ売りだと一人暮らしで使い切れないのでバラ売りだと嬉しい。夏はごみ捨てまでに野菜の切れ端等の生ゴミが臭くなってしまうので自炊しなくなりがち。生ゴミ乾かす機械とかに補助金とかありますか……(小金井市 20 歳代)
- ・処分費が どの位その商品に上乗せされてるのか、焼却にどの位のエネルギーが使われているのか わかりやすく説明出来るといいと思います。少量販売(国分寺市 60 歳代)
- ・買いすぎや、作りすぎないことだとおもいますがかいものにたびたびいけないので買いすぎしてしまうのです 83 才です。膝や腰が痛いのです。(国分寺市 70 歳以上)
- ・“経済優先にせず、本当に食べたいものだけ買う。廃棄弁当などを必要な人にくばる”(国分寺市 40 歳代)
- ・安価な大量生産品を値上げし、個人店や無農薬などで頑張っているところにしっかりお金をかけてあげる。消費者がかしこく、買い物で投票する。(小金井市 40 歳代)
- ・廃棄を無くす(小金井市 30 歳代)
- ・外食で盛りを少なめにする(小金井市 70 歳以上)
- ・適正な量を買う。販売する側も量を工夫してほしい。(小金井市 30 歳代)
- ・食事は食べ切れる量に限って用意する。(国分寺市 70 歳以上)
- ・余剰備蓄をやめたら。(国分寺市 70 歳以上)
- ・食糧があることは当たり前ではない、という世界の状況を知らせる。子どもたちに一緒に考えてもらう。(小金井市 50 歳代)
- ・“外食やテイクアウトで少量のメニューが選択できるようになるとよい。賞味期限(消費期限でなく)ならギリギリでも販売する。割引すれば絶対売れると思う。”(小金井市 50 歳代)
- ・“小学校や保育園などの出張講座で、好き嫌いなく食べることの重要性を教えることが大切だと思います。また日本は食料を大量に輸入しているので、私たちの食卓に届くまでたくさんの方がかかわっている貴重なものだと思っております。広めていただきたいです。”(小金井市 40 歳代)
- ・必要性を理解すること。(その他 40 歳代)
- ・食品への感謝の心(その他 30 歳代)
- ・“フードバンクの様なものが身近にあって、簡単に利用できると良いと思います。その仕組みを広めて欲しい。”(国分寺市 60 歳代)
- ・学校の授業で取り入れる。(小金井市 30 歳代)
- ・食品を小分けにして販売するなど、少量で購入できる工夫をする。飲食店で、「食品ロスを減らす取り組みを行っていること」「量少なめで注文可能であること」を同時にアピールする(同一金額であっても、残すよりは少なめで提供してほしいと考える人が一定数いると思います)。自宅のストックを確認してから買い物に行く。買ったものは早めに食べる。(小金井市 30 歳代)
- ・“学校給食の残渣を減らす為、その学年にあった量の見直しや、味、献立の工夫をされるとよいと思う。家庭でも、使い切れる分だけ購入する。買いためはしないなど一人ひとりが出来る事を少しずつ考えるとよいと思う。”(日野市 40 歳代)



- ・“食品ロスを減らす取組を広める為には継続的に広告媒体等で絶えず周知していくほかないのかと思われます。”(その他 50 歳代)
- ・食べなくても買ったりする。食品ロスをしていけないという意識がない。(小金井市 50 歳代)
- ・売れ残ったお弁当や惣菜などを寄付できる仕組みづくり(その他 40 歳代)
- ・食品ロスに取り組まなければならないという、一人ひとりの意識が必要だと思います。(その他 40 歳代)
- ・そもそも、食品ロスという言葉だけを知っている程度で、具体的な取り組みはなんとなくしか分からない人は多いと思います。なので、広報誌や市ツイッターで、簡単に実践できる食品ロスを減らす取り組みなどを紹介してほしいです。(小金井市 30 歳代)
- ・“個人の食品ロスにおいては意識改革が必須と思います。物価高騰で生活が大変になってきている折、食品ロスを減らすことは、個人においても経済的効果が高いことをもっとうまくアピールできたら良いのではないのでしょうか。スーパーなどの企業における食品ロスの量は個人の比ではないと思われるので、企業努力も必要と考えます。”(国分寺市 50 歳代)
- ・“基本的に皆食べ過ぎ。私には健康等からの切り口が興味をそそるが……”(その他 50 歳代)
- ・“世の中の食品ロスがどのくらいの量で、どのくらいの損失、どのくらい環境等に影響があるかということ、分かりやすく伝えて浸透させる工夫。行政をはじめ、大手企業が率先して広めていかないと、消費者全体の意識は変わらないと思う。また、人は得することに関して敏感だと思うので、多少イニシアティブが与えられると、意識的に取り組むかも。例えば、食品ロスに関して貢献するとポイントが付与されるとか。”(小金井市 40 歳代)
- ・社会全体の機運醸成が必要と思う。(その他 30 歳代)
- ・もったいない精神の普及(小金井市 40 歳代)
- ・PR の継続(その他 40 歳代)
- ・食材を作っている生産者の事を知って、大事に食べていくこと、作ってくれる人に感謝する気持ちを持つようにする。(小金井市 70 歳以上)
- ・教育。中学生から基本的な経済、会計、簿記的な考え方を学ぶ。日本人は家計を学ぶ機会が少なすぎる。(日野市 50 歳代)
- ・“CMで国民に知らせる。皮まで食べられる野菜を開発する。”(小金井市 20 歳代)
- ・飲食店で食中毒を予防するため、食べきれなかったものを持ち帰り不可としているお店が大半だと思います。ドギーバックの制度が普及するよう、飲食店に対し、普及啓発してもらえたらと思います。(国分寺市 40 歳代)
- ・少食の人が買いやすい商品群を増やす。(小金井市 30 歳代)
- ・“必要な物、必要な分だけ購入する。購入する際、手前取りをする。値下げ品コーナーで必要なものがあればできるだけ購入する。”(日野市 60 歳代)
- ・“フードロスが自分にどのような不利益をもたらすかを知らしめることが必要。何も不利益が生じない場合、大抵の人は特に行動を起こしません。現状は、一部の意識を持った人が個人的あるいは個々の小さな集団ないし特定の企業で取り組んでいるだけである。”(国分寺市 40 歳代)

代)

- ・“現行の「期限が長い食材」を譲り合うフードドライブだけでなく、期限間近の食材を消費できるような制度があると良いと思います。加えて期限切れ直後の食材の堆肥化などがあると良いと思います。”(国分寺市 20 歳代)
- ・“各家庭では、食品ロスが経済的なダメージを受けるため、「食品ロス」という概念に基づかない行動(もったいない)を過去からしてきていると思います。このため、一番の問題は、スーパー、小売店などでの売れ残りなのではないでしょうか？”(国分寺市 50 歳代)
- ・新聞折込みにフードドライブを実施している施設の一覧を入れたり、ゴミ回収日に回収する日を作ったりするのはいかがですか？(日野市 50 歳代)
- ・“スーパーなどで単身者が必要な量だけを買えるようにする。外食産業が、年齢性別のこだわりなく量を少く提供を選べるようにする。お店や外食の食品ロス対応に協力したら、ポイント還元があるといい”(日野市 40 歳代)
- ・“賞味期限に敏感になりすぎないこと。私は、自分の嗅覚と経験値に基づき、食べれるかどうか判断しています。”(日野市 40 歳代)
- ・消費者は必要な食べられる分だけ購入すること。(日野市 20 歳代)
- ・コンビニなどのもっと積極的な割引で売り切る努力や、イベント事に対しての過剰な生産をやめること。(日野市 50 歳代)
- ・必要の都度食品を購入するようにしている。また、野菜などは使い切るまで購入しないようにしている。(日野市 70 歳以上)
- ・衝動買いを控える。(日野市 70 歳以上)
- ・テレビ等で特集したり、CM や広告を出したり、政府が呼びかけたりすれば広まるかなと思います。また、スーパー等にもポスター等出したら「必要なだけ買う」という意識がつくかもしれません。(日野市 50 歳代)
- ・「食品ロス」のイメージが否定的でなじめないなので、全部美味しく食べきるいいイメージの言葉があればと思います。(日野市 60 歳代)
- ・駅など一目に付くところ(買い物する前に通りそうなところ)にポスター等で周知する。買い物する前に食品ロスのポスターを目にすれば、購入手動に影響を与えられると考えるためです。(日野市 30 歳代)
- ・スーパーで奥に手を伸ばし、商品を選ぶ人を見かけるので、商品の出し方に工夫が必要だと思います。(日野市 60 歳代)
- ・世界の飢餓問題と日本での食品ロスについて継続的に発信する。(日野市 30 歳代)
- ・“店舗で必要な分だけ賞味期限の短いものから買う意識を持つこと。家庭と企業側両方で食品ロスが出ていることを知ること。”(日野市 40 歳代)
- ・消費者は必要なもの買う、必要なものをお店も提供する。無駄に廃棄するような取り組みは控える。(恵方巻とかイベント性のあるものは、適量にする。)(日野市 50 歳代)
- ・“定期的に食品を見直す。出来るだけ必要な分量を購入する。”(日野市 50 歳代)

- ・賞味期限だけ切れているものでも、消費期限内なら安く売れば良いと思う。(日野市 30 歳代)
- ・”市役所やスーパーにフードレスキューBOX を設置して(生鮮食品以外の)食べきれない食品を寄付できるようにする。食品によっては賞味期限を少し過ぎてしまったものも受け入れてほしい。”(日野市 60 歳代)
- ・賞味期限・消費期限の適正化(日野市 50 歳代)
- ・”買い溜めをしないこと。冷蔵庫内の在庫を常に確認しておく。必要なら、メモを取って、冷蔵庫扉に貼っておく。等”(日野市 70 歳以上)
- ・企業努力(日野市 40 歳代)
- ・フードバンク寄付はしたことがないのですが、どこに寄付すればいいかとか、市内に拠点があるのかなのか、など知りたいです。その告知をしてほしい。また、広報や企画展など人が目にするところでフードロス削減の必要性を紹介するのはどうでしょう。(日野市 60 歳代)
- ・フードバンク、フードドライブをもっと広める。寄付すると、お店のポイントがもらえるなどのメリットを付与する。(日野市 30 歳代)
- ・できるだけ消費期限が迫って値引きのラベルが張られているものを優先して買うようにする。(日野市 70 歳以上)
- ・”勤めている会社では昨年から、定期的にフードドライブを実施するようになりました。市内でもつい最近、「フードドライブにご協力ください」という貼り紙を見ました。日野市の取り組みとして、大変だとは思いますが、定期的に市内各所で回収や、食品ロスの現状を伝えるイベントなどを行う必要があるのではないかと。SDGs に関する事を若い世代の人達は学生時代から学んでいると思いますが、世代や環境によっては知らない人も沢山いると思うので、とにかく知ってもらうことが必要だと感じます。”(日野市 50 歳代)
- ・不用な物を買わない(日野市 50 歳代)
- ・”買い過ぎて棚の中がゴチャゴチャして、見えなくて結局賞味期限切れて廃棄してしまう姉がいます。片付けられない性格とかだと、このようなことにもつながるのだと思います。性格や家庭環境など色んな状況ありますが、必要性を一人一人が持たないといけないと思います。”(日野市 50 歳代)
- ・”スーパーが、纏め買いをするように仕向けているが、一本でも纏め買いでも、同じ価格ならば、ロスが少なくて済むとおもう。コロナが流行していなければ、友人、知り合いとシェアできるのだから、今は分け合う事がむずかしいので、食品を売る側が対策、知恵を出すことが 1 番近道だと思う!”(日野市 60 歳代)
- ・無駄になってしまいそうな食品の寄付や安価での転売を行いやすい環境を作る。具体的にはこども食堂など受け入れ先について広報する、交換場所を設置するなど。(日野市 60 歳代)
- ・食品ロスによって自身が被る損害やリスクを実感しやすい仕組みを設けていくこと。  
現在廃棄している量を継続した場合に、将来起こりうるリスクや損害を数値化する。各自の食品の廃棄率を算出して平均値と比較して示す。達成すべき目標値も示す。目標が達成できない場合の起こりうる損害も示す。損害はできれば各個人に降りかかる損害(各人にかかるコスト

や将来〇〇が食べられなくなる等)として示せば、少しは自分事として捉えられるかも。

食品ロスにつながる行為や食品ロスを助長する番組(ユーチューブチャンネルなど)を取り締まれる条例を設けたり、公然と注意・指導できる仕組み・環境を作る。

お金を払えば食べ物を好きに扱って良いと考えている人が多いと感じる。単に「食べ物を大事に」と伝えるだけでは難しそう。親や学校が道徳として子供が小さいうちから教育する必要があると思う。

食べ物を注文して写真を撮りインスタ等にアップすることが流行っているがこれもインスタ映えだけを狙っており食べ残しが多いと聞く。食べ物が単なる承認欲求を満たすだけの道具となっているように感じるので、これも道徳的・マナー的に間違っており人として恥ずかしい行為であることを啓蒙していくことが必要ではないか。または食べ物を残さない取り組みが称賛されかつこいと評価される風潮を作っていく活動があると良いと思う。”(日野市 40 歳代)

・スーパーでは量が余らない仕入れや店頭に出す量を減らす。量り売りで必要な量だけ購入。消費期限が伸びるようなパッケージ開発、スーパーなどに不要な食品回収ボックス設置する。(日野市 60 歳代)

・必要なことというよりは、個々の日々の食事に対する意識の違いではないか。作るのが面倒という人はどうしても食材を疎かにしがちです。食品ロスしたくてしている訳ではない人もいるかもしれない。(日野市 50 歳代)

・安くても買い過ぎない。使う量を考えて買う。(日野市 50 歳代)

・”必要な分の買い物。すぐ使わない物は買わない。”(日野市 50 歳代)

・適切な共同購入が可能だと一番良いが、現実それは難しい。各人の希望が一致しないから。(日野市 70 歳以上)

・”野菜を無駄にしない切り方や、皮をむかずに調理した方が美と健康に良いことをアピールする。食べ残したものの再利用方法や、最適な冷凍保存のやり方を教えていく。再利用した料理選手権も良いかも。”(日野市 50 歳代)

・食べられる分だけ 作るようにする！(日野市 60 歳代)

・子供のころから教える、逆に親や家庭に広める。(日野市 70 歳以上)

・時間の余裕。時間の余裕を生み出す金銭的余裕。(日野市 40 歳代)

・一人一人が食べ物を大切にすることを意識することが大事だと思う(日野市 40 歳代)

・必要な分だけ購入する(日野市 50 歳代)

・まずは食べ残しを出さないように、配膳、ごみ袋の大きさを1段階下げる努力することです(日野市 70 歳以上)

・食品ロスの取り組みは一部にしか広まっていないと感じます。幅広い年代への周知が必要だと思います。学校で食品ロスについて学ぶ機会が増えれば良いと思いますし、ご年配の方にも地域のコミュニティのような場で食品ロスは深刻な問題だということを知っていただく機会があれば良いと思います。また、てまえどりが当たり前になるようにもっと浸透させてほしいと思います。(日野市 30 歳代)

- ・食品小売店、飲食店での品切れを恐れないこと。消費者もそれを批判しない社会にすること。衣類もそうだと思う。消費者個々に落ち度があるような論調が間違っている。(日野市 50 歳代)
- ・共働きの家庭を減らす。労働時間を減らす。(日野市 60 歳代)
- ・賞味期限だけでなく、消費期限も記入。(日野市 60 歳代)
- ・保存方法の周知。消費期限が近い商品の分配。(日野市 30 歳代)
- ・“毎食残りは、あります。あえて多めに作っているので…少しずつ残ったものを粗みじん切りにして、牛乳味噌チーズでリゾットを作ります。粗みじん切りにして、豆腐片栗粉でお好み焼き風にリメイクする。食在に梅干しを多用するので日持ちがします。ロスは、ほとんどありません”(日野市 70 歳以上)
- ・カット野菜やお肉などを少ない量でも安く売ること、食品売り場に「フードロス対策」「必要な分だけ購入」と書いたポスターを掲示すること、市を挙げて大々的に取り組むこと(企業やスーパーに余ったものを安く売るよう催促したり、割引や「ステーション」を作って消費者がそういったものを購入するように仕向ける)(日野市 10 歳代)
- ・コンビニなどの値引き(日野市 50 歳代)
- ・必要な物を必要な時に買う事(日野市 40 歳代)
- ・“必要以上購入しない。適正量を作る。食べきる。”(日野市 60 歳代)
- ・少量の物が売ってると良い。調味料とかも。家族の人数が少ないので、食べきれない。(日野市 50 歳代)
- ・まず企業が取り組み、個人は出してる人と出していない人との差があると思うので学校教育で浸透させる。(日野市 60 歳代)
- ・近くのスーパー(アルプス豊田南店)で「食品ロス減少のためご協力下さい」という張り紙が賞味期限間近の食品の前に貼られてあり、スツと協力しようと言う気持ちになりました。コレは良いなと感じました。言葉 1 つで意識が変わりますね。(日野市 50 歳代)
- ・商品を作りすぎないこと(日野市 60 歳代)
- ・あまりにも物が簡単に手に入るようにしない(日野市 50 歳代)
- ・“スーパーやコンビニ等でお惣菜や消費期限の短い食品の廃棄をゼロにすること。そこに真剣に取り組むためには例えば今よりも時間早々に値下げしてお客さんに売り切る販売行動が必要になる。そうすると企業側の利益は少なくなってしまうが食品ロスは削減可能である。食品ロス削減への取り組みができている企業に対しての行政からのそれ相応の助成金があれば、値下げして利益減となるとしても真剣に食品ロス削減の取り組みを企業が考えてくれるのではないか。不正が行われないよう行政側には審査や監査の負担が増えることになるが、トータルとしてプラスの方向になると考える。反対に食品ロスの多い企業に対して廃棄コストが上乘せされる仕組みがあっても良いように思う。あと、食品を廃棄してしまうくらいならアルバイトや従業員さんに配布するでも個人的には全然構わないと考えている。不公平などとは全く思わない。またフードバンクを通じて生活に少し苦勞されている方へはもちろん、小さなお子さんを待つ家庭に配布することをもっとやっていくべきだと思う。”(日野市 30 歳代)

- ・“消費期限が近いものはいまも安くはなっているが、もっと安くなればもっといい。フードバンクから購入するにはアプリなどが必要だが、高齢になるほど利用しにくいのではないか。もっと簡単に買えるといい。”(日野市 50 歳代)
- ・スーパーで安くする。勿体ないと家族に伝える。(日野市 50 歳代)
- ・食品ロスが必要としている人がいることを知ることが大事。(日野市 50 歳代)
- ・コンビニなどでの廃棄を減らす対策を講じるべき。(日野市 60 歳代)
- ・“消費者側の意識改革。外食時の食べ残しお持ち帰りの普及。開封後の使用期限の明記。もったいないの大切さ”(日野市 50 歳代)
- ・そもそもロスするような量を買わない。また、作る側の企業の取り組み。今のところ企業の側の取り組んだ場合のインセンティブが見えにくいこと。(日野市 40 歳代)
- ・スーパー等での賞味期限間近の品の値段を、もっと下げるべき(日野市 60 歳代)
- ・“個人だと購入時、料理時、防災などの保存時、廃棄前忘却期における、考慮点の啓蒙が必要。レストランやスーパーでも、ロスにならないような、TABETE のような取り組みが多摩地域にない。”(日野市 50 歳代)
- ・“賞味期限、消費期限を理解していない人が多いようなので、分かりやすくアピールする必要最低限で購入する。冷蔵庫に詰め込まない”(日野市 60 歳代)
- ・八王子の様にスーパーなどで近場に回収してくれる場所があるといいと思う。ただ持って行って手続きがあるのか？簡単に箱か何かに入れるだけとか缶詰一つから回収して貰えるなら持って行きたい。(日野市 50 歳代)
- ・食べきれない食品は日付を書いて冷凍し、必ず後日食べる。(日野市 70 歳以上)
- ・食品ロスを減らしたところでその食品を海外に運んで世界中の飢餓が解決されるわけでは無い。このアンケートの冒頭文章みたいなのは控えていき、現実的に何が困るのかを訴えるべき。(日野市 50 歳代)
- ・“食品を扱う企業には、食品ロスに対して、何かしらの責任を負わせる。私個人では、環境問題と向き合っている企業や、顔の見える生産者さんから購入するようにしています。想いが込められてつくられたものだと言われれば、大切に食べようと、より強く思います。また環境や身体のためにも、オーガニックのものや、添加物を使用していないものを購入します。価格面で負担に感じることもありますが、無駄にしたくないという気持ちも強くなります。”(日野市 40 歳代)
- ・食品ロスはカッコ悪いことだと言うことを分かってもらおう。(日野市 30 歳代)
- ・食べ物にも、もったいないという考え方があることを社会や学校家庭で言い続けていくこと(日野市 50 歳代)
- ・“賞味期限が短すぎる。飲食店での食べ残し、過剰在庫”(日野市 50 歳代)
- ・広報による周知(A4サイズ)の半分程度を使用して文字を大きくする。(日野市 70 歳以上)
- ・無駄な買い物はせず、もし多めに購入したら、食べきる。でも基本的には、必要量に応じた買い物を心がけるようにする。(日野市 50 歳代)
- ・“私達消費者だけの問題ではなく～なんでもかんでも作りすぎの企業側にも問題があると思

います!あと～これは食品ロスとはまた別の問題ですが～うちの隣人は～ゴミを袋をケチるために人の家のゴミを持ち去り自分の家のゴミを入れている人が居ます。袋の大きさも何種類も用意して頂いてるのに～自分だけ良ければ良いと言う考えの方がいると、ゴミを気をつけて仕分けてるのが馬鹿らしくなるし～とても不快でも～市、警察、管理会社は動いてくれない”(日野市 50 歳代)

- ・冷蔵庫等の在庫を定期的に行うことが必要。(日野市 70 歳以上)
- ・買いすぎない。フードバンクが身近にあるといい。(日野市 60 歳代)
- ・“食べられるものを食材の形や大きさの見た目などで消費者に渡らないことも不満です。家畜の飼料や肥料になる前に何故私達の元に届けてくれないのか…。生産者さんの努力やご苦労をもっと皆が知らなければと思います。店舗での廃棄には驚かされます。本当に捨てるしか無いのでしょうか。困っているところが低価格で購入できるとか、やり方はないのでしょうか。やっていることはあるとは思いますがまだ努力や方法が足りないのではと思います。他にももっともつとあります。”(日野市 60 歳代)
- ・“分別、回収方法を変える。可燃廃棄物と食品残渣や生ゴミを一緒に廃棄せず、別けることで食品廃棄の手間が増えたり、衛生面により食品ロスが少なくなる”(日野市 30 歳代)
- ・“命を頂いているという感覚をしっかりと持つこと。農林水産業がどれだけ苦労して食材になる原材料を作っているのか体験を子供にさせてみること。今の若い親のスマホ見ながら子育てを辞めること。お気楽になりすぎているし子供はアクセサリーでは無い。命の尊さを知れば食べ物を粗末にしないだろう。”(日野市 50 歳代)
- ・「もったいない」をなくすことが、自分にとって良いことで(例えば経済的・精神的に)、周りの人にとっても良いことで(例えばゴミの回収量や焼却などの始末の仕事の軽減や、より必要としている人の元に食品が届くチャンスなど)、地球環境にとっても良いことである(長い目で見て、必要な量だけをいただく習慣を身につけることが、良好な環境を持続させる一つの方法である)ことを理解してもらうこと。子供の頃から教育すること。(日野市 50 歳代)
- ・使いきり食材だと少し割高な事があるので、それをやめる(日野市 30 歳代)
- ・調味料の貸し借りのような、お互いに少し多すぎるものを融通し合う精神。お得用大型パックのように、多すぎるものを押し付けお得感をあおる売り方を止めること。(日野市 50 歳代)
- ・食品ロスの現状と、その削減方法の普及。食品を買う店舗での啓発活動。(日野市 10 歳代)
- ・一人用のレシピの普及。食べ物の大事さを教育する。(日野市 20 歳代)
- ・一人一人の意識改革(日野市 50 歳代)
- ・“世界の食料支援の実態とゴミ削減の取り組みを広く多くの人にアピールする事が必要と思います。捨てられている食料を金額で表すと実感が湧くかも知れません。”(日野市 70 歳以上)
- ・1人用2人用の食材を店頭にだしていただければ助かります(日野市 70 歳以上)
- ・無駄な買い物をしない。(日野市 70 歳以上)
- ・食べきれない量の物を買わない。すぐに調理しない物、残った物を適切に冷蔵庫や冷凍庫に保存して、腐らせないようにする。(日野市 50 歳代)

- ・飲食店やコンビニは売れ残らないように工夫する。市をあげて飲食店で具体的に取組んでもらい、食べ残さないよう客に働きかける。つくる責任つかう責任。スーパーでの売れ残り品は使い切りレシピを隣に提示する。人は頭でわかっているでも自分の行動で習慣化するには意識し続けるしかない。よって意識させ続けるために視覚に働きかけるに限る。(日野市 30 歳代)
- ・仕事でフードパントリーと定期的な関わりがあります。家庭に対してはより多くの周知が必要だと思います。ただ結果にも出てるように企業の食品ロスが圧倒的に多いです。いくつ販売するかなどの計画性をもっともち、売り切れないようにたくさん作ろうでなく、売り切れたら必要数を再生産するといった考え方が大事だと思います。(日野市 30 歳代)
- ・毎日の献立について、家族に理解、協力してもらおう。(日野市 40 歳代)
- ・食品によって料理の仕方が偏りがあるので簡単で手順が簡素なアレンジの仕方を教えてもらえるとおんなじものを何日もとらず食べ切れるのではないのかなあと思います(日野市 50 歳代)
- ・賞味期限と、消費可能期限、保存方法による劣化、どうなったら本当に食べられないものか、実際に体験しないとわからない。(日野市 50 歳代)
- ・フランスのように売れ残り食料品を廃棄禁止にする(その他 40 歳代)
- ・焼却処分などに要する費用が税金だという事を周知されてみてはどうですか。(日野市 60 歳代)
- ・飲食店でも、食べきれなかったものをマイ弁当箱持参で持ち帰りok にする。注文する際にご飯少な目とか選択できるようにする。(日野市 50 歳代)
- ・少量販売。賞味期限が過ぎていても、食べられるものは食べるといった消費者の意識改革(日野市 60 歳代)
- ・捨てるのにもゴミ袋購入等でお金はかかる。ならば食べたかがいい(日野市 50 歳代)
- ・市民一人ひとりが知ること。理解を深める事。調理の工夫を含めた食品交換が出来る場の提供。(日野市 60 歳代)
- ・賞味期限は、多少過ぎてても、食べて問題ない事。栄養価を失わない冷凍保存方法など(日野市 50 歳代)
- ・各家庭の適正な在庫量を知り、買いすぎない購入習慣をつける。(日野市 60 歳代)
- ・食品ロスが自身にとって、経済的にも無駄である事を認識させるべき。(日野市 70 歳以上)
- ・食品ロスを失くせば、不用意なゴミも減らせて後には地球環境キープにつながって、最近の世界で起こっている不測な気候問題へと話がまとまる。とにかく、ひとりひとりの気付き.努力が5年後 10 年後に必ずや意味が出てくる。未来の子供、孫達のためにあなたの今を！！と高齢者にも啓蒙活動していきましょう。意味を知らない人がとても多いのではないかなと思います。(日野市 60 歳代)
- ・買い溜めしない。勿体無い精神。食べ尽くす。食べ物への感謝の気持ち。(日野市 60 歳代)
- ・期限だから捨てるとか無駄なことしなければいいだけ(日野市 50 歳代)
- ・スーパーでの食品販売の個食対応品を増やし、なおかつ、大容量タイプとの価格帯の差を



なくす。(どちらを買っても、同値)。(日野市 50 歳代)

- ・販売単位が一人暮らしでも買いやすい方包装を作る。値段も抑える。(日野市 40 歳代)
- ・高齢者が増えているにも関わらず売手市場で小分けにしての販売店が無い。特に大型スーパーマーケットは売手市場が拡大していると思う。(日野市 70 歳以上)
- ・賞味期限と消費期限の区別がついていない人も少なくないと思いますので、これら期限の違いに関する啓発活動があっても良いと思います。(日野市 50 歳代)
- ・現代の標準生活可能な世帯は食べ過ぎている可能性が。もっと、食事量を減らす傾向の思考にしてもいいかと。(日野市 40 歳代)
- ・消費期限というものが導入されてから、意識が過敏になりすぎてると思う。昔は傷んだトマトやミカンなど承知の上でひと山いくらで買ったものです。消費者が「きれいなもの」を意識しすぎ(日野市 70 歳以上)
- ・日本人は同調圧力に弱いからテレビや有名人がアピール(日野市 50 歳代)
- ・買いためしない。今ある物での料理をする。安いからと必要ないものを買わない。(日野市 50 歳代)
- ・食材を計り売りにする。必要な分だけ、袋に入れて買う。(日野市 70 歳以上)
- ・簡単なことから始める(日野市 50 歳代)
- ・必要以上に買わない。食材は食べ切る。(日野市 60 歳代)
- ・亡くなった義理の母がそうでしたが、とにかく買いためることが好きで、毎日買い物に行くのに、ほとんど消費しないため、大量の食品を捨てる羽目になりました。高齢者は、必要以上の食材を買い込む傾向にあると思います。そういった人たちに、特に販売する側への希望ですが、少量のものを同様に格安に販売したり、必要なだけの食材を買えるような取り組みをしてもらいたいと思います。(日野市 50 歳代)
- ・わざわざこちらから渡しに行ったりするのが面倒なので、取りに来てくれるスキームがあればいいと思う。(日野市 30 歳代)
- ・生ゴミ処理機の助成金事業。生ゴミのみのゴミ回収袋で日野市の生ゴミを肥料にする。日野市はゴミ袋が高すぎる。だからゴミの量を減らすことにひっしになる。物価高なので、ゴミ袋の値段の見直しをしてほしい。(日野市 30 歳代)
- ・コンビニでの廃棄、外食での食べ残し等の削減(小金井市 60 歳代)
- ・期限が近いものを安価で販売する(小金井市 50 歳代)
- ・生産者が過剰生産しない、賞味期限をうるさく言わなくても大丈夫な商品の意識付け、余剰食品の再利用方法を積極的に考える(国分寺市 60 歳代)
- ・フードドライブをもっと利用しやすい様にしてほしい。場所を増やす、消費期限の締切を 2 週間ごとに細かく設定する。(小金井市 30 歳代)
- ・お得である事の周知。(小金井市 40 歳代)
- ・無駄なく食材を使うことと、ときには外食も組み合わせることも必要だと思う。(小金井市 60 歳代)

・買い物や食事をする店舗で、食品ロスについての説明や取り組み方法を掲示する。買い物前や注文前に意識することで、買い過ぎや注文し過ぎ、食べ残しを防ぐ。(小金井市 40 歳代)

・調理技術の獲得と、調理をする時間の確保。残業をせずに定時に帰れるようにする。過剰なサービスを求めない。(日野市 50 歳代)

・安売りスーパーなどで、まとめてお買い得商品はありがたいが、単身、2 人などの少人数家族が多いため、大量の商品を買くと帰って廃棄してしまうものが出てくる。少量からでも安く購入できる様になれば、食品ロスも少なくて済む。(小金井市 50 歳代)

・もっと身近なところにフードポストなどがあれば、捨てる以外の選択肢が増えると思います。(国分寺市 40 歳代)

・もったいないを意識する(その他 50 歳代)

・外食等事業系に関する所だと、最近では普及して来ているが、お持ち帰りシステムを積極的に導入する。お惣菜系だと、見栄え重視もあるが、家庭でゴミになりやすい、食用菊とかツマの量を減らすなどの対策がとれれば、少しでも減量出来るのではと感じる。家庭用でいくと、やはり野菜の皮や食べられない部分をいかに生ゴミ処理機で細かくするか、他の用途に生かせるレシピのようなものが普及出来るよう、情報発信を強化していくなどが考えられると思う。(その他 20 歳代)

・個人レベルでの「食品ロス」削減のハードルは少ないですが、現在の流通システムの前提に「廃棄は仕方ない(足りないより余る方がまだまし)」という暗黙の認識があるように感じます。無駄を減らすニーズ調査や時間毎の値段の割引制度等、既に各事業所で試みがなされていると思いますが、流通システム全体の変革が必要だと思います。

「食品ロス」だけに焦点を絞るのではなく、飼料・肥料・エネルギー源としてのリサイクル等、システムの改善が大切かと思っています。

例えば、コンポスト・生ゴミ処理機(微生物、乾燥)の購入補助を各自治体で薦めておられますが、集合住宅の場合、設置場所や取り扱い等で難しい場合が多いため、ドイツ等のように、集合住宅の場合でも、共同コンポストを設置したり、燃料化したり、消費者レベルでの意識改革だけではなく、社会全体のルール・システム作りをして頂きたいです。

<https://www.dowa-ecoj.jp/kaigai/germany/20230101.html>

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2020/0601/c3af8f0eaf6ca6e1.html> (小金井市 40 歳代)

・食品ロスになる前に値下げして販売するお店を増やす(日野市 50 歳代)

・一番はやはり、大量生産をやめる、ということではないでしょうか。多少の品切れがあってもあたりまえの世の中にする。お店に並べる量をそもそも減らす、というのが一番インパクトの大きい取り組みかと思っています。国産の質と量を高め、輸入品は控えて、地産地消を心がけて…国や自治体が生産者をバックアップしていくことは大前提です。また、関心のない方のなかには、生活が手いっぱいでもそこまで気が回らない方々も多くいるはずで、そもそも自炊をするゆとりもないような人がプラフリーやゴミゼロの事など考えられるはずありません。なので市民国

民の生活が忙しく苦しいものでなくなるように、自治体や国は根本的な解決をしてほしいと思います。関心の薄い方々に対しては、食品ロスはじめエシカルな取り組みが自分自身にとってもメリットがあり、それはどういう点でなのか、ということを知ってもらえたら、積極的に取り組んでもらえるのかな、と思ったりします。個人的に働きかけることもありますが、手間がかかることや不便になることはめんどろさが先立つ方が多いようで、なかなか浸透しません、むずかしいです。たとえば、家庭内のゴミの量が減ればゴミ袋の量が減るから年間だと数千円のゴミ袋代が浮くとか…とにかく具体的にメリットを見える化してあげることが何かしらのきっかけになるのではないかな、と思ったりしています。

また、フードバンクをもっと日常的にいつでも届けられる場所に多く設置してもらいたいです。もっとひらかれた活動になるといいなあと思います。(月に一度、限られた場所で数時間のみだけでは行きたくても行けません…)(国分寺市 40 歳代)

・フードドライブをもっと広めて欲しい。(国分寺市 50 歳代)

・贈答品などで家族の食の嗜好に合わない物などを手軽に寄付できるシステムがあると便利だと思います。少量の場合、わざわざ遠くまで運ぶのは手間なので、それぞれの地域ごとに回収してくれるシステムがあるといいと思います。2~3 ヶ月に 1 度、各地域の公共施設で余った食品を回収する日があればいいですね。市報で告知してくれればそこに合わせて余った食品を持ち込めます。生鮮品には向きませんが。(小金井市 50 歳代)

・野菜などを袋詰めして売らずに、必要なだけ量り売りするお店が増えて欲しい。消費者の意識を高めるしかないと思う。(国分寺市 50 歳代)

設問8 「食品ロス」について、あなたが知りたいことはありませんか？何かあればお聞かせください。(自由記述)

- ・①長期保存出来る物の期限が切れても大丈夫な目安を分かりやすく表示して欲しい。②購入単位が大きいときの食べ切れない肉、魚、野菜を美味しく食べるための保存方法(小金井市 60 歳代)
- ・普段通っているお店の毎日の食品ロスの量を知りたいです。また、家庭での食品ロスを減らすための調理法やレシピを教えてください。(小金井市 20 歳代)
- ・食品ロス削減の取組を行っているお店などの情報。消費者として協力できることがあれば知りたい。(国分寺市 50 歳代)
- ・飲食店のロスの規模を知りたい(国分寺市 60 歳代)
- ・家庭での食品ロスが言われていますが、お店での食品ロスはどの様に対策されて取り組んでいるのか知りたいです。(国分寺市 40 歳代)
- ・食品ロスがどこでどれぐらいの量が出ているのか。(日野市 40 歳代)
- ・日常的に利用できるフードバンクやフードドライブの場所(国分寺市 50 歳代)
- ・フードドライブの回収場所を固定していると良いと思う。(国分寺市 70 歳以上)
- ・必要でないものを持って行ける場所(小金井市 50 歳代)
- ・使い切り・小分けで販売している店舗を知りたい。(小金井市 50 歳代)
- ・フードドライブ等で寄付された食品の行方や活用方法を知りたいです。(その他 50 歳代)
- ・食品ロス削減の為の具体的な事例紹介(小金井市 60 歳代)
- ・ロスになる前の情報が欲しい。ロスになった物の具体的な内容。(小金井市 50 歳代)
- ・本当にその消費期限が妥当なのか、ある程度超えて食べても問題ないのではないか(小金井市 40 歳代)
- ・下の東京都の食品ロス啓発動画の内容ですが、食品ロスの推計データの算出方法に問題があるという指摘もあります。そして、2016 年以降も、食品ロスについて啓発していると思いますが、調査やデータが更新されていかなければ、その結果が分かりません。一定の追跡調査と効果、どの取り組みが効果的だったかなどのフィードバックが欲しいです。(小金井市 40 歳代)
- ・具体的な方法。実現可能な。(小金井市 40 歳代)
- ・家庭と、スーパーやコンビニなどの販売店、料理を出すお店から出る食品ロスの割合を出して欲しい。(小金井市 40 歳代)
- ・現在既に食品ロスに対して取り組んでいること。市民には届いていない気がする。(小金井市 60 歳代)
- ・残飯を機械にいれて、再利用しているようですが、具体的にその残飯をどこの場所で肥料として使っているか詳しく知りたい。(小金井市 40 歳代)
- ・動画みました。知りたかったことがわかったので、大丈夫です。(内容と関係ないですが、動

画が右にはみ出て切れていました。少々みにくかったです^^;) (小金井市 40 歳代)

- ・食品ロスが多い企業などの公表 (小金井市 50 歳代)
- ・ロスした事で、どれだけ損しているのかを可視化する (小金井市 50 歳代)
- ・食品ロスが起きてるのではなく「分かっててやってる」人達の具体的な儲けや仕組みを公表して欲しい。 (小金井市 40 歳代)
- ・食品業界、経済界の食品ロスに対する意向。 (小金井市 50 歳代)
- ・個人の努力には限界があると思うのですが、国全体として食品ロスをなくそうという動きはあるのでしょうか。 (小金井市 30 歳代)
- ・どうしたら、コンビニやスーパーやパン屋が、常に商品をビッシリ置かねばならないという常識をくつがえせるでしょうか。どうすれば、それによって買い占めをやめさせられるでしょうか。そしてさらに、メルカリでセドリや転売ヤーたちが横行する愚行を止められるでしょうか。 (小金井市 40 歳代)
- ・スーパーやコンビニで廃棄になった食品は燃えるゴミとして処理されるのでしょうか？昔よく給食の残りは豚の餌になると言われていましたが(本当なのでしょうかね?)そういった方法は今でも可能なのでしょうか？ (国分寺市 30 歳代)
- ・個人的には購入した食品を廃棄することはまずない。 (小金井市 60 歳代)
- ・食品ロスがほとんどない先進国はどこなのか？うまくいっている理由。 (小金井市 50 歳代)
- ・食品ロス防止のため、消費者として食品メーカーに提案できる場所や機会があるかどうか。 (その他 40 歳代)
- ・不要な食品を受け入れてくれる窓口の周知 (その他 50 歳代)
- ・食品ロス削減に向けての企業の取り組み、先進企業について知りたい。 (小金井市 70 歳以上)
- ・上の廃棄量はゴミにしかならないものも含まれていると思います。本当の食べ残しや未調理・賞味期限切れ廃棄に近い数字を知りたいです。 (小金井市 60 歳代)
- ・残食として廃棄されているものにはどのようなものがあり、どのくらいの量なのかといった数値をデータで見たい。523 万トン、お茶碗一杯分ではあまりイメージがわからない。単身世帯の裕福な人だと、むしろお茶碗一杯程度か、などと感じてしまうのではないか。 (小金井市 40 歳代)
- ・家庭のフードロス減少によりどれほどの効果があるのか？正直な感覚として、個人の努力により、工場や商店など企業の取り組みが優先なのではと思ってしまう。 (小金井市 30 歳代)
- ・ゴミを減らした方がいいということは理解できますが、ものが食品のため、観点が飢餓とか貧困とかに結びつきがちなところがいいのか悪いのか、と思っています。結びつけるなら結びつけるでちゃんと結びつける必要があるというか....よく「貧困であえいでいる子もいるのに」という話になりますが、ここ日本でフードロスに取り組むことがその子たちの貧困解消に直接結び付かないため、あまりピンときません。余った缶詰を送るわけにもいきませんし。例えば経済的に〇円分具体的にこういうことをやってロスをなくしてそのお金を飢餓で苦しんでいる国に送ると〇円で〇を買って〇人助かる....など、具体的な支援策が打ち出せると、飢餓や貧困の観

からもみんなフードロス対策をがんばるのではないのでしょうか。(小金井市 40 歳代)

・減らすと何かいいことはあるのか。(小金井市 30 歳代)

・私の家は家庭の食品ロスはさほどありません、気を付けているので。ただ、中食や調理済み食品、外食などの賞味期限切れなどのフードロスが大きいのでは？と考えています。その見える化からの改善を期待したいです。(小金井市 40 歳代)

・農家の方が売り物にならずに捨ててしまう場合も食品ロスになるのか？そーいった食材を手に入れる方法はあるのか？(その他 20 歳代)

・特にありません。少しでも貢献できるように考えてはおります。(小金井市 60 歳代)

・家庭での食品ロスも問題だけれども、外食産業から出る廃棄も問題だと思っている。合わせて取り組んでいかなければならないと考えている。(小金井市 50 歳代)

・食品の長期保存のヒントとか…でしょうか(小金井市 50 歳代)

・ロスした食品を農業などに活かさないか、それを実現するプロセスがいま住んでる地域にあるのか。個人より市内の法人(外食チェーン店など)の方が圧倒的に廃棄が多いのではないかと。(小金井市 30 歳代)

・加工食品が元凶に見える。あと AI うまく使えないのか。(小金井市 50 歳代)

・家庭のロス量(年収別)、店舗のロス量(ジャンル別)(小金井市 40 歳代)

・自治体毎の食品ロス量の比較、年代別など(小金井市 50 歳代)

・賞味期限、消費期限を過ぎたものでも良く食べていますがたいい大丈夫です。期限についての信憑性はどうなのでしょう。(小金井市 50 歳代)

・全ての食品の賞味期限ではなく消費期限と、それを伸ばすための保管方法(小金井市 50 歳代)

・食品ロスへの取り組み具体案が知りたい。(小金井市 50 歳代)

・目標値(現実的に実現可能で、適正と考えられる食品ロスの量)はいくつでしょうか？(小金井市 40 歳代)

・経済的に困っているひとが小金井市にどのくらいいて、どのくらい寄付が集まるとどのくらいの人助かるかを知りたい。あとどのくらい必要なのか、など。(小金井市 30 歳代)

・小金井市の発生量と具体的対策とその結果(小金井市 60 歳代)

・スーパーも、複数買うと何割引き、などをやめた方がいい。買わせる側にも意識改革できないのでしょうか。何も考えない消費者は、買わされてしまっている場合もある。(国分寺市 30 歳代)

・食品ロスになったものはどうやって処分されているのでしょうか。家畜の肥料になるなど、有効活用されてはいないのでしょうか。(小金井市 30 歳代)

・企業がどう取り組んでいるのか、消費者だけの問題ではないと思っているので。(国分寺市 60 歳代)

・食品ロスが必要な理由、ロスを減らすことで、誰がどのようにたすかるのか。(小金井市 40 歳代)

・食品ロスで困っている人がいるのか？(その他 40 歳代)

- ・できることからコツコツと。(その他 60 歳代)
- ・手軽なフードロス対策法。(小金井市 30 歳代)
- ・地域にある子ども食堂など、必要としている身近な人に届ける仕組み(小金井市 50 歳代)
- ・食品ロスが減ることで損する企業や業種があるのでしょうか。そういうのがあると消費者が頑張ってもなかなか効果が出ないように思います。(小金井市 50 歳代)
- ・食品ロスを解消するとどのような良いことがあるか、できるだけ具体的に教えていただきたいです。(小金井市 40 歳代)
- ・食品ロスを減らして、何を達成したいのか。目的がわかると取り組みやすい。(その他 40 歳代)
- ・調理の工夫。冷凍ができる食品を知りたい。(国分寺市 60 歳代)
- ・食材を無駄なく食べられる方法(小金井市 30 歳代)
- ・なぜ君たちは日本経済の足を引っ張ろうとするのかを知りたい(国分寺市 30 歳代)
- ・食品ロスが減らせるとどんな効果があるのか(その他 40 歳代)
- ・簡単に実践できる食品ロスを減らす取り組み(小金井市 30 歳代)
- ・工夫の例(小金井市 40 歳代)
- ・値引きをして販売することは食品ロス削減であると考えますが、値引き時間はどのように設定しているのでしょうか。品数や天候によって決めているように思いますがイベント物、例えば最近で言えば 満月の当日午後 8 時過ぎに 10%ほどの割引で売られていた月見団子が大量に残っているのを見て心配になりました。割引率をもう少し高くすれば売れる気もしました。中には生鮮食品の消費期限が当日であっても 10%引きのシールが貼ってあることもありますが当日のものは早めに半額くらいに下げてくださいとロスがなくなると思います。(日野市 60 歳代)
- ・523 万トンの内訳(家庭、加工工場、スーパーや小売店など)(国分寺市 50 歳代)
- ・リーマン一人暮らしが食品ロスを念頭に起き食材を買い調理することは並大抵のことではない。なにが効果的なのか、モデルが浮かばない。家庭でスーパーで外食で、ロス食品はどんな道をたどるのか、もっと CM などで取り上げてほしい(日野市 40 歳代)
- ・飲食店、販売店の一日のロスについて。(日野市 20 歳代)
- ・各コンビニ店の廃棄率など。(日野市 50 歳代)
- ・販売側も鮮度の良く痛みの少ない商品を提供して欲しい、ミニトマトを買ったら萎びかけたものが混ざっている、アボカドを切ったら黒く傷んでいた等。(日野市 70 歳以上)
- ・他国の食品ロスの状況や取り組みを知りたい。(日野市 50 歳代)
- ・食品ロスによる副次的悪影響※この設問の回答ではありませんが、回答を入力したあとに最後の動画を視聴したところ、回答内容が消えて、もう一度入力しなくてはならなくなりました。動画を掲出するなら、先頭(入力前)に置くなどの工夫をお願いいたします。(日野市 30 歳代)
- ・1 番新しい商品より何日か、消費期限が短い商品を 3~5%値引きするスーパーがありますが…どこでも同じようにはできないもののでしょうか？(日野市 60 歳代)
- ・一般家庭でのロスとレストランなどお店や企業でのロスの割合が気になります。(日野市 30 歳代)

- ・豊作すぎて余っているとか、誤発注で余っているものがあれば買いに行きたいので市の SNS で発信してみてはどうか。パンなど冷凍できるものは冷凍自販機とかで駅で売るのも良さそう。(日野市 30 歳代)
- ・寄付された食品を速やかに(できれば当日か翌日)「こども食堂」等の献立に利用できるようなシステムはできないのでしょうか?(日野市 60 歳代)
- ・特に無し。食べ物を粗末に扱うことは心苦しい。(日野市 70 歳以上)
- ・身近な企業がどれだけ捨てているのか公表してほしい。(日野市 40 歳代)
- ・上には書きましたが寄付先を知りたい。(日野市 60 歳代)
- ・食品ロスの実態(地域別、食品別、金額、期間別、傾向)(日野市 70 歳以上)
- ・スーパーなど、缶詰やお菓子は賞味期限ギリギリまで販売して良いと思うのですが、なぜ半年ルール?とかで売れなくなってしまうのか、残念にも思います。(日野市 50 歳代)
- ・寄付の受け入れ先を市報やラインなどで教えてほしい。(日野市 60 歳代)
- ・食品ロスによって起こるリスクや損害を具体的に示してほしい。食品ロスを知らない人に説明するのが意外と難しいです。(日野市 40 歳代)
- ・食品のフードバンク開設場所を教えて欲しい。(日野市 60 歳代)
- ・523トンという数字をどうやって算出しているのか知りたい。(日野市 50 歳代)
- ・野菜を無駄にしない切り方。最適な冷凍保存方法。食べ残したものの再利用方法。(日野市 50 歳代)
- ・食品ロスについてわかりやすい事とか効果とか(日野市 40 歳代)
- ・食品ロス分をゴミ処理したら、費用がどれだけかかるのか教えて欲しい。(日野市 60 歳代)
- ・スーパーなどでは賞味期限の残り期間が一定の割合になると陳列しない(廃棄?返品?)と聞くが、それを変えさせることは出来ないのか。(日野市 50 歳代)
- ・消費期限(日野市 60 歳代)
- ・どこで消費期限が近い商品を安売りしているか。(日野市 30 歳代)
- ・食品ロスを減らすことは良いことだが、減らしたところで経済的に豊かでなく飢餓状態にある人に、削減した又は余った分の食事はしっかり届くのだろうか。ただ富んだ人の食べ物を減らすだけの行為になっていないだろうか。(日野市 10 歳代)
- ・食事のリメイク(日野市 50 歳代)
- ・消費期限が切れてもどのくらい食べれるのか?(日野市 60 歳代)
- ・残らないように工夫する。(日野市 50 歳代)
- ・日野橋の銚子丸で 不要な食品を置くスペースがあった。次は持っていこうと思う。賞味期限のあるものは どこかに送るなど具体的なロスしそうな食品の寄付先がわかるとうれしい。(日野市 50 歳代)
- ・寄付できる場所など、わかりやすく、やりやすく(日野市 60 歳代)
- ・消費期限と賞味期限が良く分からなく、まだ食べられる賞味期限、過ぎると捨てる場合もある。この理解度はどうなのでしょう。(日野市 70 歳以上)



- ・下の動画がスマホで見ると右側が見切れてる。どうしてこのままリリースしてしまうのか、その原因と今後の対策を教えてください。(日野市 50 歳代)
- ・スーパーや企業がどのように食品ロスに対して取り組んでいるのか知りたい。(日野市 30 歳代)
- ・食べ物が捨てられている場所で、家庭のほかに多いところはどこか。スーパー、コンビニ、ファミレス？(日野市 50 歳代)
- ・なんで企業側は、こんなに沢山作るのか？何でなんでもかんでも過剰のパッキングなのか!?(日野市 50 歳代)
- ・本当の勿体ないとはどういうことなのか。些細なこともそうなんだももっと理解周知が必要。自分だけならとかこれくらいならとか、そんなことの積み重ねで、塵も積もれば山となる…だということを 1 人 1 人がもっと真剣に考えるべき時…それをもっと伝えないと思います。我が事として考えるにはどう、心に響かせたら届くのでしょうか。(日野市 60 歳代)
- ・バイオ発酵などの処理は検討にあるのか。(日野市 30 歳代)
- ・賞味期限の近いものを貰ってもらえる施設など。人間の食べ物だけでなく、ペットフードやペットおやつ貰ってもらえる施設があるなら知りたい。(日野市 50 歳代)
- ・肥料にするのは社会、経済的に需要や費用対効果が高い方法ですか？(日野市 20 歳代)
- ・生ものの正しい保存方法(日野市 50 歳代)
- ・スーパー、コンビニなどで、賞味期限切れでも食べられる物をどのようにしているのか知りたい。格安で消費者の手にまわるようにしているのか、など。(日野市 50 歳代)
- ・飲食店やコンビニで出たゴミの行方。コンビニで廃棄された商品は何故持ち帰ってはダメなのか。働いたことないけど。(日野市 30 歳代)
- ・フードバンクのシステム。消費期限時の配給先の基準について。「食品ロスを考えよう」の動画、うまくできているが製作費が知りたい。クレイアニメなど結構お金がかかっているのでは。(日野市 40 歳代)
- ・食品ロスは大小出してしまうのかも知れませんが、家畜や野菜などの肥料にすることは出来ないのでしょうか？(日野市 50 歳代)
- ・フードバンクとか、賞味期限過ぎてたらダメなんですか？(日野市 50 歳代)
- ・お店で売れ残りそうな食品は半額以下にするなど割引すればほぼ売れるのではないかと思うのですが、難しいのでしょうか？(その他 40 歳代)
- ・スーパーや飲食店などから排出される量はどのくらいなのでしょうか。家庭系だけでなく企業系の努力も紹介されてみては。(日野市 60 歳代)
- ・企業の取り組みは綺麗事のように思える。それより実際の廃棄量の提示や、イベントでは少ない数で勝負し競争心を煽ってでも廃棄量前年同月比を提示してほしい。(日野市 50 歳代)
- ・企業の食品ロス削減対策方法(日野市 50 歳代)
- ・各業者、店舗で、どれくらいの食品の廃棄が出ているのか知りたい。(日野市 50 歳代)
- ・家庭での取り組みで改善できることを具体的に知りたい。(日野市 60 歳代)

- ・フードバンク等で食料を求めているのに、食料を無駄にして居る。繋げる施策が求められる。(日野市 70 歳以上)
- ・私達の今の生活にどんな利点ができるのか？減らす努力を怠ると逆にどうなってしまうのか？を今回日野市がゴミを減らせた偉業に絡めて、わかりやすく「号外！！」的な書面を各戸配布してみても関心を得るチャンスかと思います。(日野市 60 歳代)
- ・未だに、解らない方の意見として「賞味期限」と「消費期限」の違いが解らないと言う声を聞きます。スーパーやコンビニ等の入口に大々的に大きなポスター等貼り啓蒙活動に繋げる等してみてはいかがでしょうか？(日野市 50 歳代)
- ・必要以上に買わされることを無くせばロスは無くなると思います。(日野市 70 歳以上)
- ・商品の最終行き先がとても気になる。捨てられたその先、ゴミとして燃やしてるのか。(日野市 70 歳以上)
- ・フードバンク的な所を知りたい。誰でも購入出来るようにして欲しい。(日野市 60 歳代)
- ・食品ロス削減のレシピ。(日野市 30 歳代)
- ・期限が近く、安価で販売しているところを知りたい。(小金井市 50 歳代)
- ・なぜ食品ロスを消費者に減らす努力の意識付けばかりして、せいさ、メーカーの生産を減らす方向、への努力が感じられないのか知りたい、動画はスマホ使用の割に、半分しか見られません。本来食べられる食品を捨てる、確かにそれが問題です。でも、過剰生産しないことが、余剰食品減につながるという訴えは、全く感じられませんね。責任転嫁でもあるとおもいます。食べられるのに捨てるのは良くない、そうです。でも、必要以上に作る必要もない、それも確かではないでしょうか。どこか、誰かに責任を押し付けていたら、根本の改善にはならないと思います。(国分寺市 60 歳代)
- ・家庭でのロス軽減よりも自治体や国の力をかりて企業下での軽減取り組みに力を注いでほしい。そのための取組があれば知りたい。(小金井市 40 歳代)
- ・マンション住まいの場合の食品(特に野菜など)の保存について。一戸建ての場合は建物の北側の暗い場所に芋類など保存できるが、マンションの場合は北側にベランダでもない限り難しいので。(小金井市 60 歳代)
- ・食品ロスへの取り組みで、実際にどれくらいの廃棄が減らせたのか。取り組むことで、本当に効果があったのか。(小金井市 40 歳代)
- ・身近な場所での取り組みや行っている施設や店舗などを知りたいです。(国分寺市 40 歳代)
- ・フードバンクやフードドライブ施設を駅やスーパーやショッピングモールに併設することで、もっと積極的に家の余り物とか持ってきてやすくなるのでは。減量にもつながるのでは。非常食とフードドライブ用の食材が混合するのを避ける方法を知りたい。(その他 20 歳代)
- ・このような食品ロスに関する意識調査やアンケートの試みはとても感謝しています。にもかかわらず、これだけ食品ロスに関する関心が高まっているのに、東京オリンピックで大量のお弁当廃棄問題がなぜ起きてしまったのか、いまだに疑問です。既に分析されているのかもしれませんが、今後の教訓として、発注段階から廃棄処理にいたるまでの経緯を明らかにして原因

解明をお願いいたします。「もったいない」という日本文化を大切にしていきたいです。(小金井市 40 歳代)

・市内や近隣地域での取り組みを毎月市報や SNS などでお知らせしてほしいです。ファーマーズマーケットとともにフードロスマーケットが各地でひらかれるといいなあと思います。「こんなにロスがでてるんだ…」と多くの人の意識に見える化させていくことが大事なのではないかなあと思います。個人的に、国分寺市名物の蚤の市ができたらいいいなあと以前から思っていて、そこでファーマーズマーケットやフードロスマーケットが毎月のように行われていたら、色々な意味で活性化してよいのではないかな、と思いました。たとえば市役所跡地や MK 公園がそのようなシンボリックな場所になったらいいな、という思いがあります。実現されるとよいです。(国分寺市 40 歳代)

・要望になってしまいますが子どものうちから授業で取り上げてみんなの意識を高めることをして欲しいです。(小金井市 50 歳代)

・近隣のスーパーやコンビニで食品ロスを防ぐためのどんな取り組みをしているのか知りたい。そのような取り組みをしているお店で購入したいと思う。(国分寺市 50 歳代)

## 食品ロス削減の取り組みの方向性 ～アンケート調査結果に基づく提案～

### 1. 自治体による啓発

- ・食べ物を捨てるのはもったいないことを繰り返し訴えて、食品ロス削減意識を高める。
- ・食品ロス削減方法を具体例をあげて周知する。
- ・食品ロスを減らすことによる経済的メリットまたは食品ロスによる経済的デメリットを周知する（商品代金、ごみ袋代、収集処理費用）。

### 2. 子どもの教育

- ・学校や家庭で、子どもの時から食べ物を捨てるのはもったいないという意識を植え付ける。
- ・子どもに好き嫌いなく食べることの重要性を教える。

### 3. 家庭での取り組み

#### <直接廃棄の削減（使い切り）>

- ・適切に保存する。
- ・日頃からまたは買物の前に冷蔵庫内の食材の在庫や賞味期限・消費期限をチェックする。
- ・賞味期限を過ぎてもすぐに捨てずに、食べられるものは食べるようにする。
- ・必要な物だけ買う。

#### <食べ残しの削減（食べ切り）>

- ・料理を作りすぎない。
- ・残さず食べる。
- ・余った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）

#### <過剰除去の削減（エコクッキング）>

- ・野菜や果物の皮や葉、茎などもなるべく食べるようにする。

### 4. 小売店での取り組み

- ・期限間近の商品は値引きして売れ残らないようにする。
- ・少人数家族向けに、バラ売り、量り売り、小分け、少量パックを増やす（割高にしないで）。
- ・小売店は品切れを恐れず、廃棄が出るほど在庫を持たない。

### 5. 飲食店での取り組み

- ・量を少なめに注文できるようにする。
- ・食べ残した料理を持ち帰れるようにする。
- ・利用客に食べ残さないよう働きかける

### 6. フードドライブの活用

- ・フードドライブの設置場所や回収した食品の活用のされ方などを周知する。
- ・フードドライブが身近にあって利用しやすいようにする。